

昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和51年11月1日発行毎月1回1日発行

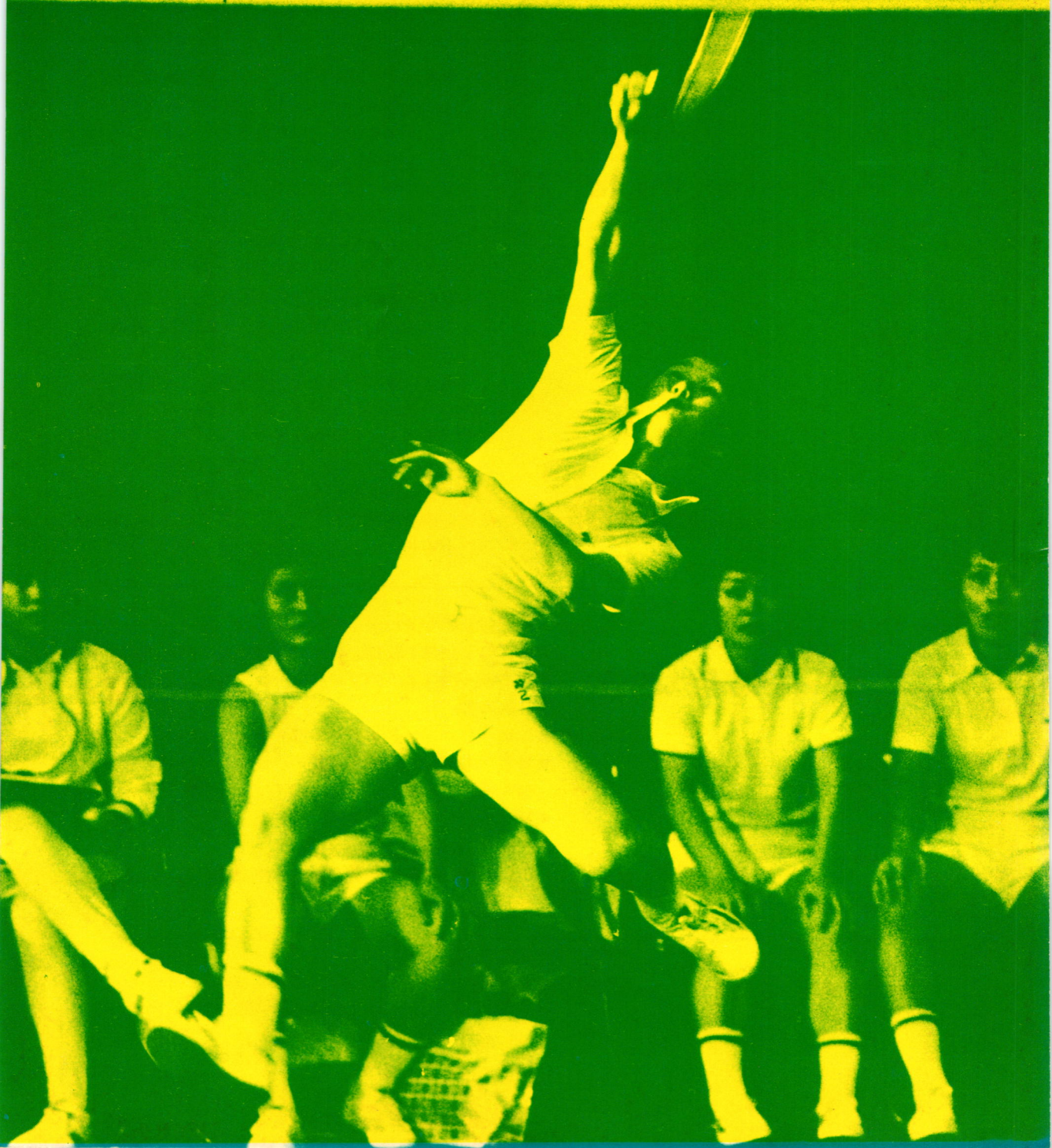
日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

85

NOVEMBER
1976



本誌専用合本バインダー発売中

バドミントン界1年分12冊を、穴もあけず、ノリも不要の便利な合本バインダーを発売中です。定価 500円（送料実費）です。ご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あて申込冊数明記のうえお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

別冊

1977年バドミントン・カレンダー The Badminton World '77 が発行されました。

日本バドミントン協会では、昨年別冊 The Badminton World '76 カレンダーを発行し、大変ご好評をいただきましたが、今年は、全ページカラーで発売中です。大きさはB3判（週刊誌の4倍大）12ページ。定価 950円（送料実費）。収録選手は1976年の国内大会で好成績を収めた次の男女選手です。

◆男子◆小島一平・池田信孝・梶野尾昌一
・銭谷欽治・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸・西村正美

◆女子◆湯木博恵・梶野尾悦子・池田美加
・徳田敦子・秋本八代美・谷美津代・秋本幸子・植野恵美子

The Badminton World '77 カレンダーをご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あてお申し込みください。代金後払いでお送りいたします。

●好評発売中

「ユーバー杯奪還への道」

「第7回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」の全記録を収録。カラーを含む数十枚の写真によって各国出場選手のプレーを分析できる選手・指導者必携の書。

●編集＝バドミントン界編集部

●著者＝本田弘敏・小宮淳宏・小飼栄一・後藤忠弘・福井正康・宮永武司・中山紀子

●写真撮影＝山田真市

●定価 1,000円（送料 120円）

お申込みは下記日本バドミントン協会出版局へハガキでどうぞ。

日本バドミントン協会出版局

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1
岸記念体育会館内

1976年11月号 目次

表紙撮影、本文中写真・山田真市、読者 イラスト・中島 潔

◇第27回秩父宮杯・秩父宮妃杯争奪 全日本学生バドミントン選手権大会◇	
男子は中央大が四連勝(9度目).....	2
女子は日女体の二連勝(9度目).....	5
栄光の足跡.....	22
《グラフ》.....	
◇第25回文部大臣杯争奪・全日本学生バドミントン◇	
東西対抗競技大会.....	8
—男子は東軍の完勝—	
—女子も順当に東軍—	
◇第31回国民体育大会バドミントン競技◇	
強豪がそれぞれ順当に勝ち名のり.....	10
《グラフ》.....	18
感慨深かった佐賀国体.....天野 裕子.....	25
神奈川スポーツ賞に輝く.....	12
—佐賀国体バドミントン成年男子の部優勝の 小島一平・宮川秀樹・笠井教行の三選手	
◇第3回全日本家庭婦人バドミントン大会◇	
やっぱりママは強かった.....	14
—大成功をおさめ、来年の再会を約束し合う	
●連載●お母さんや子供のバドミントンのためのシリーズ・第7回	
私の回顧録—「バドキチ」だった頃.....伊藤 基記.....	26
われらのクラブ①	
渋谷バードクラブ(S・B・C).....	28
●日本教職員バドミントン連盟編	
審判に関する100問集⑦.....	30
◎新製品紹介コーナー・Now Products Information.....	32
◎三級公認審判員になった人々の氏名発表.....	34
◎昭和51年度日本バドミントン協会審査用具一覧表.....	36
◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表.....	38
◎編集室から.....	40

第27回秩父宮杯・秩父宮妃杯争奪 全日本学生バドミントン選手権大会

男子は中央大が四連勝（9度目） 女子は日女体の二連勝（9度目）

第27回秩父宮杯・秩父宮妃杯争奪全日本学生選手権大会が10月26から31日までの6日間、駒沢体育館・駒沢屋内球技場・国立競技場代々木第2体育館で行なわれた。

同時期に開催されている第4回アジア選手権大会出場のためインドへ遠征中の近藤（日女体大）、植野（四条畷短大）の不参加はあったが、全国から集まった精鋭により、随所に好ゲームが展開された。

なお全日程終了後に、今年初めて企画されたレセプションが開催され、日本協会からも森友徳兵衛副会長をはじめ数多くの出席者を見、協会役員、学連、選手

一体となつての東西の交流は、大変意義深いものであった。

企画・運営に携わつた学連のクリンヒットというべきであろうか。

◆男子団体戦

▽決勝

中央大 3
（複）
（単）
2 1 1
0 0 1
1 法政大

西村 2
（複）
（単）
15 15 15
11 12 0
0 仲原

長谷川 2
（複）
（単）
15 18 15
11 16 0
0 中井

秋葉 0
（複）
（単）
1 4 15
15 15 2
2 辻井

管 2
（複）
（単）
15 15 15
6 10 17
1 辻

西村（打ち）原
（切り）
（原）
（中大は4年連続、9回目）

不動のオーダーの中央に対し、法政は中井が単複に連続して出場しなければならぬのが苦しく、第2ゲームに入ると別人のようにスタミナをなくし敗れ去つた。辻はさい先よく第1ゲームを先取し、第3シングルスに望みを残すかと思われたが、若さに溢れる管は終盤になるにつれ持ち味を発揮、単に強い中央の伝統を見せた。

第1ダブルスで西村・長谷川に中井・辻が当たれば、その勝敗によって優勝の行方も予断を許さなかつただけに、作戦

を読み誤つたのだろうか、法政のオーダーには策に溺れた感があつた。

◆女子団体戦

▽決勝

日女体 3
（複）
（単）
2 1 1
0 0 1
1 四條畷

渡松 0
（複）
（単）
7 8 15
15 15 2
2 高合田

米倉 2
（複）
（単）
15 15 10
7 6 15
1 佐藤瀬

石田 2
（複）
（単）
15 15 11
11 11 0
0 落合

千葉 2
（複）
（単）
11 11 4
8 4 0
0 落合

米倉 2
（複）
（単）
15 5 12
5 11 9
1 高田

渡辺 2
（複）
（単）
15 5 12
5 11 9
1 佐藤

（日女体は2連勝、9回目）
（日女体短大時代も含む）
共に近藤、植野の両エースを欠きながらも堂々の決勝進出は見事であつた。両校の層の厚さは他校の注目に値するものであつた。

千葉の不調によるダブルス欠場で日女体大の苦戦は免れないものと見えたが、これに奮起したのか全員一丸となつての勝利は圧巻だつた。

特に第2シングルス、シングルス優勝候補の高田に対し、互角に打ち合いこれを破つた米倉の勝負根性のしたたかさには舌を巻くばかりである。

男子複

中井・辻、貫禄の二連覇

女子複

波にのった落合・佐藤に栄冠

◆男子複

▽準決勝

中井 2	基 夫	敏 弘	大 (法政)	西 美村	正 幸	長 幸	博 幸	大 (中央)
15	11	18	14	15	6	15	4	15
須 茂	栗 原	恒 夫	大 (日体)	舩 田	吉 光	岩 崎	盛 和	大 (日体)
0	0	0	0	0	0	0	0	0

▽決勝

中井 2	辻 2	15	3	17	15	15	4
1	1	1	1	1	1	1	1
西 村	長 谷川	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)
0	0	0	0	0	0	0	0

(中井・辻は二年連続二度目)

結果的にみて、中井・辻は第1ゲームを接戦の末のものにしたことが大きな支えとなった。14-10とゲームポイントを握られたものの、この頃から次第に彼

等らしいコンビネーションと力強いスマッシュが発揮され、追う者の強味も手伝って逆転に成功。完全優勝を狙う中大の西村・長谷川に一矢を報いる。法大の意地を感じさせた。第2・第3ゲームは決勝戦ということを考えれば、内容的にも一方的な試合で盛り上がり欠いたのは残念だった。

◆女子複

▽準決勝

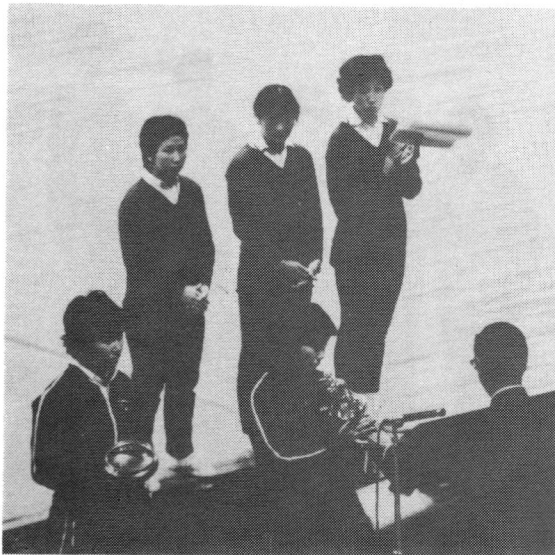
落合 2	光 子	佐 藤	真 弓	真 弓	千 葉	松 子	敦 子	大 (日体)
15	12	15	4	15	12	15	17	15
矢 口	内 子	由 美	東 女	大 (東大)	渡 辺	多 喜	原 智	大 (日体)
0	0	0	0	0	0	0	0	0

▽決勝

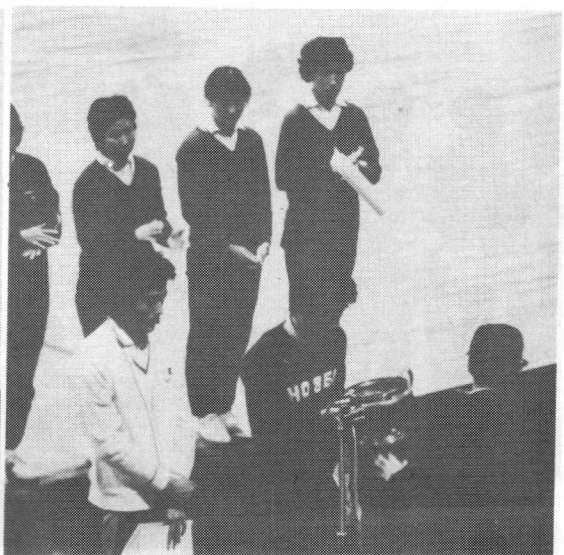
落合 2	佐 藤	大 (四短)	大 (四短)	大 (四短)	大 (四短)	大 (四短)	大 (四短)
15	4	15	8	15	8	15	8
千 葉	松 田	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)	大 (日体)
0	0	0	0	0	0	0	0

(落合・佐藤は初優勝)

決勝は好試合が期待されたが、予想に反して、千葉・松田がどうしても波に乗ることが出来ず、2ゲーム目8までリードするのがやつとの状態で、落合・佐藤にあつさり押し切られた。落合・佐藤はネット際の処理が素早く、前衛で勝負球を決めたのが大きくものをいい、相手の追撃を許さなかった。



女子複優勝、落合・佐藤 (四短大)



男子複優勝、中井・辻 (法大)

栄光の足跡

男子団体

年	回	優勝	2 位	3 位	開催地
26	1	慶応義塾大学	法政大学	立教大学	
27	2	慶応義塾大学	立教大学	関東学院大学	
28	3	立教大学	明治大学	慶応義塾大学	
29	4	立教大学	慶応義塾大学	同志社大学	
30	5	立教大学	慶応義塾大学	明治大学	
31	6	立教大学	慶応義塾大学	関西大学	
32	7	立教大学	慶応義塾大学	関西大学	
33	8	立教大学	慶応義塾大学	法政大学	東京
34	9	立教大学	法政大学	明治大学	福岡
35	10	慶応義塾大学	法政大学	立教大学	東京
36	11	立教大学	慶応義塾大学	法政大学	
37	12	法政大学	立教大学	慶応義塾大学	愛知
38	13	立教大学	中央大学	慶応義塾大学	宮城
39	14	法政大学	慶応義塾大学	中央大学	大阪
40	15	中央大学	法政大学	立教大学	東京
41	17	中央大学	法政大学	立教大学	東京
42	18	中央大学	法政大学	立教大学	大阪
43	19	日本大学	法政大学	中央大学	愛知
44	20	中央大学	早稲田大学	日本大学	神奈川
45	21	中央大学	日本大学	法政大学	大阪
46	22	法政大学	早稲田大学	日本大学	宮城
47	23	日本大学	法政大学	早稲田大学	愛媛
48	24	中央大学	日本大学	法政大学・日本体育大学	福岡
49	25	中央大学	法政大学	日本大学・日本体育大学	山梨
50	26	中央大学	法政大学	日本大学・日本体育大学	奈良

女子団体

年	回	優勝	2 位	3 位	開催地
28	3	京都女子大学	盛岡女子短期大学	郡山女子短期大学	
29	4	郡山女子短期大学	京都女子大学	青山学院大学	
30	5	日本女子体育短期大学	京都女子大学	郡山女子短期大学	
31	6	京都女子大学	同志社女子大学	成 大 学	
32	7	日本女子体育大学	慶応義塾大学	日本女子体育短期大学	
33	8	日本女子体育短期大学	日本体育大学	京都女子大学	東京
34	9	熊本女子大学	日本女子短期大学体育	京都女子大学	福岡
35	10	熊本女子大学	京都女子大学	大阪樟蔭女子大学	東京
36	11	京都女子大学	熊本女子大学	大阪樟蔭女子大学	
37	12	熊本女子大学	日本女子体育短期大学	日本体育大学	愛知
38	13	日本女子体育短期大学	日本女子体育大学	京都女子大学	宮城
39	14	日本体育大学	日本女子体育大学	京都女子大学	東京
40	15	日本女子体育短期大学	日本体育大学	京都女子大学	東京
41	17	日本体育大学	日本女子体育大学	京都女子大学	大阪
42	18	日本女子体育大学	日本体育大学	熊本女子大学	愛知
43	19	日本女子体育大学	青山学院大学	日本体育大学	神奈川
44	20	日本女子体育大学	青山学院大学	日本体育大学	大阪
45	21	東大阪短期大学	日本体育大学	日本女子体育大学	宮城
46	22	東大阪短期大学	日本女子体育大学	日本体育大学	愛媛
47	23	日本体育大学	日本女子体育大学	東京女子体育大学	福岡
48	24	日本体育大学	日本女子体育大学	東京女子体育大学・青山学院大学	福岡
49	25	日本体育大学	日本女子体育大学	東京女子体育大学・青山学院大学	山梨
50	26	日本女子体育大学	四条畷学園短大	東京女子体育大学・日本体育大学	奈良

男子個人

年	回	シングルス				ダブルス			開催地
26	2	優勝	広田敏秀	慶応大		広田敏秀・小宮淳宏	慶応大		
27	3	優勝	広田敏秀	慶応大		広田敏秀・五十嵐国夫	慶応大		
28	4	優勝	望月文雄	立教大		佐藤芳郎・山崎茂	立教大		
29	5	優勝	佐藤芳郎	立教大		岡道明・越川啓	慶応大		
30	6	優勝	佐藤芳郎	立教大		石田裕・越川啓	慶応大		
31	7	優勝	永井栄一	立教大		望月文雄・永井栄一	立教大		
32	8	優勝	片石兼敏	立教大		片石兼敏・板垣隆房	立教大		東京
33	9	優勝	永井栄一	立教大		板垣隆房・小宮好雄	立教大		福岡
34	10	優勝	小宮好雄	立教大		板垣隆房・小宮好雄	立教大		東京
35	11	優勝	板垣隆房	立教大		板垣隆房・小宮好雄	立教大		
36	12	優勝	板垣善憲	立教大		小宮好雄・鈴木幸春	立教大		愛知
37	13	優勝	宮永武司	慶応大		森晃一・沢田力	法政大		宮城
38	14	優勝	東条義昭	立教大		伊村隆・中村富光	法政大		大阪
39	15	優勝	小島一平	中央大		本田務・鈴木健二	法政大		東京
40	16	優勝	秋山真夫	中央大		大竹絃一・安沢武司	立教大		京都
41	17	優勝	小島一平	中央大		小島一平・西野一征	中央大		東京
42	18	優勝	西野一征	中央大		西野一征・本間順次	中央大		大阪
43	19	優勝	本間順次	中央大		高林弘則・本間順次	中央大		愛知
44	20	優勝	本間順次	中央大		森芳夫・池田信孝	法政大		神奈川
		2位	今泉勉	中央大		本間順次・鷺尾正一	中央大		
		3位	寺前信之	立教大		梅野尾昌一・児島昇	法政大		
45	21	優勝	杉山修	日本大		本間順次・鷺尾正一	中央大		大阪
		2位	本間順次	中央大		門間幹夫・木戸純一	日体大		
		3位	今泉勉	中央大		杉山修・牧野光男	日本大		
46	22	優勝	谷口寛	立教大		草島正治・田所光男	法政大		宮城
		2位	遠藤好男	日本大		門間幹夫・木戸純一	日体大		
		3位	田所光男	法政大		牧野光男・遠藤好男	日本大		
47	23	優勝	遠藤好男	日本大		草島正治・田所光男	法政大		愛媛
		2位	谷口寛	立教大		二上敏博・本間享	早大		
		3位	銭谷欽治	中央大		相川進・銭谷欽治	中央大		
48	24	優勝	銭谷欽治	中央大		飯野佳孝・土田証雄	日本大		福岡
		2位	舟山敏彦	日本大		中井基夫・辻敏弘	法政大		
		3位	松口金彦	早大		尾崎幹雄・銭谷欽治	中央大		
		3位	須藤茂	日体大		舟山敏彦・村谷信之	日本大		
49	25	優勝	銭谷欽治	中央大		飯野佳孝・土田証雄	日本大		山梨
		2位	山本茂樹	中央大		銭谷欽治・山本茂樹	中央大		
		3位	栗原恒夫	日体大		須藤茂・栗原恒夫	日体大		
		3位	中山謙吾	福岡大		中井基夫・辻敏弘	法政大		
50	26	優勝	土田証雄	日大		中井基夫・辻敏弘	法政大		奈良
		2位	長谷川博幸	中央大		下田春樹・仲尾信一	法政大		
		3位	山本茂樹	中央大		折井直則・松口金彦	早大		
		4位	西村正美	中央大		米山正和・原敏夫	法政大		

栄光の足跡

女 子 個 人

年	回	シングルス		ダブルス		開催地
27	3	優勝 早瀬 治子	神戸大	田中弘美・早瀬 治子	神戸大	
28	4	優勝 小野寺 京子	青山学	松山昌子・北村明子	京女大	
29	5	優勝 小野寺 京子	青山学	滝田三知江・吉田経子	郡山短	
30	6	優勝 斉藤 千代子	成溪大	阿部とし子・押切ひろ	福島大	
31	7	優勝 松本 享子	京女大	斉藤千代子・鈴木千代子	成大	
32	8	優勝 三浦 節	尚女短	大橋艶子・草野千栄子	岡山大	東京
33	9	優勝 三浦 節	尚女短	三浦 節・沢村国子	尚女短	福岡
34	10	優勝 山崎 紀久子	熊女大	田島外茂子・秋山文子	熊女大	東京
35	11	優勝 田島 外茂子	熊女大	田島外茂子・山崎紀久子	熊女大	
36	12	優勝 秋山 文子	熊女大	諸田みや子・青山博子	日女体短	愛知
37	13	優勝 高木 紀子	日女体短	諸田みや子・高木 紀子	日女体短	宮城
38	14	優勝 高木 紀子	日女体短	高木 紀子・天野博江	日女体短	大阪
39	15	優勝 高橋 とも子	日女体短	高橋とも子・宮崎和子	日女体短	東京
40	16	優勝 高橋 とも子	日女体短	碓 恵美子・虫賀雅子	日女体短	京都
41	17	優勝 高橋 とも子	日女体短	五十嵐明美・小林邦子	日体大	東京
42	18	優勝 湯木 博江	日女体大	高橋とも子・宮崎和子	日女体大	大阪
43	19	優勝 湯木 博江	日女体大	碓 恵美子・湯木 博江	日女体大	愛知
44	20	優勝 湯木 博江	日女体大	相沢マチ子・竹中悦子	新潟青陵	神奈川
		2位 竹中 悦子	新潟青陵	湯木 博江・本間恵美子	日女体大	神奈川
		3位 高坂 薫	青学大	松本 直美・高坂 薫	青学大	
45	21	優勝 湯木 博江	日女体大	柴山きよ子・高橋弘子	東大阪	大阪
		2位 柴山 きよ子	東大阪	湯木 博江・本間恵美子	日女体大	
		3位 高橋 弘子	東大阪	小山登茂子・高橋きよ子	青学大	
46	22	優勝 柴山 きよ子	東大阪	柴山きよ子・高橋弘子	東大阪	宮城
		2位 高坂 薫	青学大	塩崎睦子・池田美加	日女体大	
		3位 小片 千恵子	日体大	堀川栄美子・陣内裕子	日体大	
47	23	優勝 西尾 真理子	日体大	堀川栄美子・谷 美津代	日体大	愛媛
		2位 秋本 八代美	日体大	塩崎睦子・池田美加	日女体大	
		3位 谷 美津代	日体大	栗原えり子・名和和子	東女体	
48	24	優勝 古谷 成代	日体大	池田美加・塩崎睦子	日女体大	福岡
		2位 塩崎 睦子	日女体大	西尾真理子・秋本八代美	日体大	
		3位 北島 稔子	日体大	樋口智子・鈴木真知子	日女体大	
		3位 石田 雅子	日女体大	石田雅子・吉田孝子	日女体大	
49	25	優勝 西尾 真理子	日体大	秋本幸子・徳田敦子	四条畹短	山梨
		2位 徳田 敦子	四条畹短	秋本八代美・西尾真理子	日体大	
		3位 古谷 成代	日体大	石田雅子・吉田孝子	日女体大	
		3位 陣内 裕子	日体大	谷 美津代・井上昌子	日体大	
50	26	優勝 徳田 敦子	四条畹短	徳田敦子・高田幹子	四条畹短	奈良
		2位 高田 幹子	四条畹短	秋本八代美・西尾真理子	日体大	
		3位 千葉 陽子	日女体大	谷 美津代・井上昌子	日体大	
		3位 西尾 真理子	日体大	近藤小織・渡辺多喜子	日女体大	

第25回文部大臣杯争奪・全日本学生バドミントン

東西対抗競技大会

男子は東軍の完勝
— 女子も順当に東軍 —

第25回文部大臣杯争奪・全日本学生バドミントン東西対抗競技大会は、インカレにさががけて10月24日、駒沢体育館にて開催された。

試合は、東日本地区（東軍）、西日本地区（西軍）から選ばされた代表選手によって、男子7試合、女子5試合、混合ダブルス3試合の計15試合による対抗戦形式で行なわれた。

男子は層の厚さを誇る東軍がわずかに2ゲームを落しただけで圧勝。第5回大会以来21連勝と記録を延ばした。

女子は、西軍よく健闘して2ポイントあげたが、内容的にもあと一歩というところで、東軍に2連勝を阻まれてしまった。これで女子の対戦成績は西軍の11勝10敗となり、これからの激戦が大いに楽しみである。

東軍 13
西軍 2

男子 7	0
女子 3	2
混合 3	0

▽男子

西谷川 2	15 15	4 9	0	宮田 原
中井 2	15 15	7 9	0	北谷 山
三ノ宮 2	15 15 11	7 10 15	1	古島 西
秋葉 2	15 15 11	7 10 15	0	棟
舛田 2	15 15	0 1	0	森
秋元 2	15 15 3	4 10 15	1	中山
辻 2	15 15	7 10	0	本田
長谷川 2	15 15	3 11	0	増田

▽女子

大関根 2	15 15	4 12	0	四宮 添
矢口 0	11 12	15 15	2	佐藤 合

千葉 2	11 11	0 2	0	広瀬
矢口 0	7 8	11 11	2	高田
大塚 2	11 11	3 0	0	横野

▽混合

関根 2	15 15	8 12	0	梅田 田
松村 2	15 15	11 9	0	狭川
中井 2	15 15	7 8	0	森重
千葉 2	15 15	7 8	0	田原

●出場選手紹介

（西軍）選手

棟敏彦	（大経大4年）	出場2回目
奈良一条	（近大4年）	出場2回目
古西悟	（近大4年）	出場2回目
岐阜東高出身		出場2回目
谷島助男	（近大4年）	出場2回目
金沢市立工高出身		出場2回目
北谷恭一	（福大4年）	初出場
高松商業高出身		初出場

森重明	（山口大4年）	初出場
長崎東高出身		初出場
宮原一	（関大4年）	初出場
高志高出身		初出場
梅田勝彦	（近大4年）	初出場
添上高出身		出場2回目
塩田秀行	（関大3年）	初出場
高志高出身		初出場
本田直人	（熊大2年）	初出場
熊本高出身		初出場
増田伊知郎	（近大2年）	初出場
八日市南高出身		初出場
狭川恭子	（大阪樟蔭大4年）	初出場
奈良一条	（武庫川大3年）	出場3回目
川添雅代	（武庫川大3年）	出場2回目
土佐女高出身		出場2回目
四宮郷子	（武庫川大3年）	初出場
佐用高出身		初出場
高田幹子	（四條畷短大2年）	初出場
四條畷学園高出身		出場2回目
広瀬純子	（四條畷短大2年）	初出場
岐阜富田女高出身		初出場
落合光子	（四條畷短大2年）	初出場
甲府湯田高出身		出場2回目
日原禎子	（山陽学短大2年）	初出場
山陽女高出身		初出場
榎野いく子	（東海女短大1年）	初出場
松阪高出身		初出場
佐藤真弓	（四條畷短大1年）	初出場
兵庫湯田学園高出身		初出場

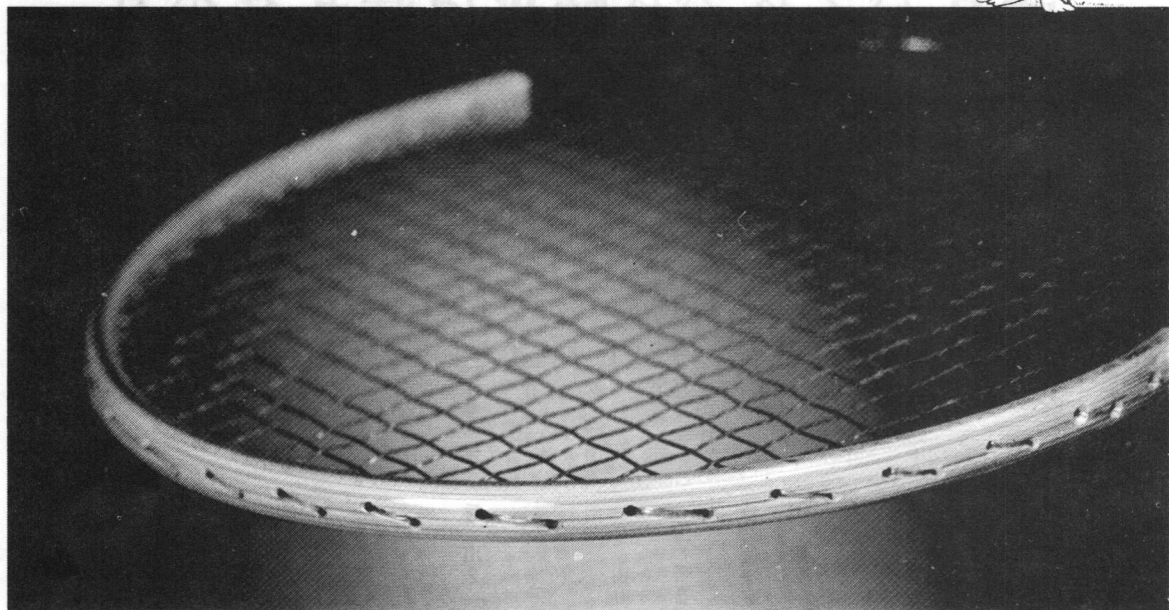
●主将

（西軍）	中山謙吾	（福大4年）	出場2回目
（東軍）	外田吉光	（日体大4年）	出場2回目
（東軍）	七尾商高出身		出場2回目

●監督

（西軍）	吉岡淳	（近大監督）	初出場
（東軍）	関根義雄	（日体大監督）	初出場
（西軍）	小島聡	（京大4年）	初出場
（東軍）	古池泰	（早大4年）	初出場
（東軍）	山口ちひろ	（日体大4年）	初出場

竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



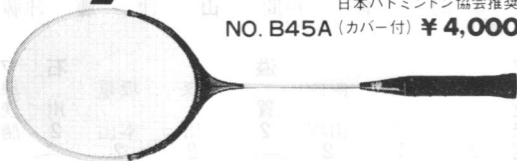
竹製なればこそ発揮できる威力が
バドミントンのプレーに適した材質
の特性であることに着目して、その
研究成果を集積、ここに今話題の
バンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が
誕生しました。

■竹と木の合板による強靱なフレームと
細くて長いテーパーシャフトによる抜群
の反挽力と反挽音。■薄いフレームに竹
独特の強さとしなりがシャープな振りと
動きを可能にします。■ガット張りによ
るラケットの変形が起らない。■ソフト
グリップが手に良くなじみます。

Hy-Thomas

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

日本バドミントン協会推奨
NO. B45A (カバー付) ¥4,000



株式
会社 **ゴ-セン**

本 社・大阪市東区豊津町4 TEL. (06) 942-5816 (代)
東 京 支 店・東京都台東区蔵前4-14-2 TEL. (03) 862-6576 (代)
福岡営業所・福岡市中央区基院1-4-8 TEL. (092) 712-5247~8

●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)ゴ-センスポーツ用品部迄お問合せ下さい。

理想のガット〈ウインテックス〉!!

Wintex

TOURNAMENT GAUGE
130% for TENNIS, 127% for BADMINTON



弾力性・耐久性ハツクスのステンレスス
チールワイヤー巻きの高級ガットです。

すばい動きがいつもフレッシュ!!

Wintex WEAR



第31回国民体育大会バドミントン競技

強豪がそれぞれ順当に勝ち名のり

第31回国民体育大会バドミントン競技は、佐賀県牛津町に於て10月25日より4日間にわたって熱戦を繰り開けた。
結果は次の通りである。

◇成年男子

▽準決勝

神奈川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 石川

宮川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 相米

笠井 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 堂谷内

富山 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 新湯

牧野 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 鈴捧

米沢 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 丸山

今泉 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 鈴木

▽三位決定戦

石川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 新湯

相米 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 鈴捧

堂谷内 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 丸山

▽決勝

神奈川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 富山

宮川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 牧野

◇成年女子

▽準決勝

東京 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 岐阜

石田 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 佐広

湯木 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 佐円

香川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 大阪

石原 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 秋谷

牛田 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 西尾

田所 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 秋本幸

▽三位決定戦

大阪 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 岐阜

谷本 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 佐広

秋本 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 佐円

▽決勝

東京 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 香川

湯木 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 石原

◇成年男子(教員)

▽準決勝

石川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 熊本

長谷川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 稲工

和田 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 工藤

群馬 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 和歌山

桐生 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 木門

桐生 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 山本

今井 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 門間

▽三位決定戦

和歌山 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 熊本

山本 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 稲工

武藤 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 稲津

▽決勝

石川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 群馬

長谷川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 桐生

◇少年男子

▽準決勝

石川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 香川

坂本 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 平上

森田 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 平野

滋賀 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 三井

西山 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 山井

西山 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 北橋

西山 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 井崎

▽三位決定戦

香川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 三井

平上 2 単 複
1 1 0 0
0 0
1 井山

平野 2 単 複
1 1 0 0
0 0
2 井崎

▽決勝

上原 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 山西

石川 2 単 複
1 1 0 0
0 0
0 滋賀

坂重山 2
本 2
18 15
16 8
0 西
山堀

森田 2
15 15
12 10
0 北
橋

少年女子

▽準決勝
大阪 2
単 複
1 1
0 0
0 東
京

石井 2
15 15
4 4
0 松
徳永

河村 2
11 11
3 3
0 水
野

新潟

新潟 2
単 複
1 1
0 0
0 高
知

青木 2
15 15
4 3
0 山
田本

藤井 2
11 11
4 7
0 浜
田

▽三位決定戦

東京 2
単 複
1 1
0 0
0 高
知

徳永 2
15 15
10 6
0 山
田本

松枝 2
11 11
3 3
0 浜
田

▽決勝

大阪 2
単 複
1 1
0 0
0 新
潟

石川 2
15 15 9
6 9 15
1 藤
青井木

石川 2
11 11
7 8
0 青
木

※

少年女子決勝 戦評

(日バ理事、選手強化委員、
大会副審判長、伊藤基記)

大阪は夏のインハイの圧勝を
甘く見ていなかった。かといっ
て自信を感じていたわけではな
い。そのことは比較的慎重なス
タートを決めたことが分る。か
がえた。ところがこれがどちら
かといえば、第1ゲームでは裏
目にでたようだ。新潟の青木・

藤井組はなるべく石川をさせて
平を振り廻す。夏の教訓を充分
に活かしている。石川は
時々しか訪れない強打のチャン
スにどうしても焦りがでる。
平は応ずるのが精一杯、なく
もがなのネット、アウトがでる。
9-9まではそれでも一進一退
であったが、その間に大阪は完
全に新潟のペースに巻きこまれ
てしまった。今までどちらかと
いえば、空手をねらっていた新
潟がチャンスにボディとミドル
を果敢にねらい、あつという間
に15-9と寄り切ってしまった。
第2ゲーム。大阪は何とか、
自分のペースを見出そうと懸命
のスタートである。この探りは、
最初の数ポイントの応酬で終っ
た。大阪は前陣速攻の感を取り
戻した。この時点で、攻守にま
さる大阪の勝はきまっていたとい
える。大阪が本来のペースをとり

戻せば、新潟がその圧迫から焦
りがでること必定。2-5まで
とりすぎるのが精一杯、2-14
まで9ポイントとられ、そこで
僅かに1ポイント報いただけで
4-15の大差で、ゲーム・カウ
ント、1-1。
新潟はどちらかといえば、小
細工のうまさで乗り切ろうとす
る悪いくせがでて、第2ゲーム
を大差で失ったことが致命的と
なった。
第3ゲームにはいつて、新潟
はねばりに徹して、6-7とつ
けてゆくのが一杯、ペースを思
い出した大阪の猛攻をさけ切れ
ず、6-15と、第2ゲームの後
半を再現することになった。

シングル

第1ゲーム。青木選手はうま
い選手だ。然し、石川選手に対
すると、ウインニングがだせな
い。2-2から、2-10。然し
さすがに青木嬢、ねばりにねば
って、一気に寄り切ろうとする
石川選手のミスを誘い7-10と
迫る。が、これが精一杯、石川
選手は、こどもの数発を残して
いた。カウント8-11。

第2ゲーム。青木選手は第1
ゲームの追いあげの味を肝に銘
じていたのか、4-0と意外に
好リド。けれども、石川選手
はもともと総てにおいて、一枚

上。4-6と逆転してから7-
10ととりすぎる青木嬢を振り切
った。
通覧すると、夏の成績から考
え、大阪勢が新潟勢に追い
つかれたような印象をうけるが、
私は両者の力関係は変っていない
と思う。夏の新潟勢は大阪の
先制攻撃に圧倒されて、実力を
出し切れなかっただけと解して
いる。唯、選手達があまりにも、
監督の指示をうかがいながら、
ゲームしているのを見ると、大
観衆の中で、孤独のゲームをし
なければならぬ国際試合のプ
レシヤーにたえる選手に彼女
等が育つかどうか、年寄りの杞
憂でなければよいがと思ってい
ることを、ここに記さねばなら
ないのが残念である。



少年女子優勝・大阪(石川・平)

神奈川スポーツ賞に輝く

——佐賀国体バドミントン成年男子の部優勝の

小島一平・宮川秀樹・笠井教行の三選手

十一月三日「文化の日」

横浜市中区山下町の県民ホールで五十一年度神奈川文化賞・スポーツ賞（神奈川県、神奈川新聞社共催）の贈呈式が催され、十氏、四団体の榮譽を、千五百人の参加者が祝福。

国体バドミントンで二連覇を成し遂げた、小島一平（三十二）、宮川秀樹（二十八）、笠井教行（二十七）の三選手にも限らない拍手が送られた。

（以下は10月29日付、11月2日付神奈川新聞より）

三連覇へも意欲

ここで笠井は巻き返した。「さあ、いけ」の声を浴びて、気力のスマッシュだ。こうなれば追う者の強み。初めて一人でコートに立つ小島が、持ち前のフアイトむき出しに大熱戦を乗り切ったのである。

小島は「世界の一平」である。各国のトップクラスが集まる全英選手権で3位。全日本選手権ではシングルスで8度、ダブルスを4度制しているベテランだ。打って拾ってのオールラウンドぶりに加え、小柄な体に闘志をたぎらせる勝負根性は逸品である。宮川は小島との名コンビぶりに定評がある。運動具店を共同経営しているように、呼吸はぴったり。安定したストロークとレシーブ力が光る。笠井はサウスポールの強打者。今国体で全勝をマークした活躍ぶりは、二連覇への大きな原動力となるものであった。

トリオのリーダーはもちろん年長者（三十二歳）の小島である。率先してランニングの先頭

48年来 不動のトリオ

ダブルス落とし苦戦

四十八年の千葉国体から不動のトリオである。優勝、準決勝、そしてこの二連覇。常に決勝を争うコンスタントな実績は、高く評価される。

今国体は初戦から準決勝まで、ダブルスと第1シングルスを連取する快進撃。切り札の小島は

第2シングルスに出番がなかった。笠井のがんばりで、小島のスタミナを温存出来たといえる。だが、富山との決勝は苦しかった。ダブルスがストレート負けし、笠井も第1セットをセットインのすえ落とした。ベンチに不安の色が漂う。しかし、

「ことしは準決勝まで組み合わせが楽で、ラッキーだった。それに一線級がアジア選手権との関係で、出場していませんでしたからね」。鈴木監督は勝つて当たりまえの口ぶりだ。事実、昨年の方がつらかったといえる。決勝の相手は東京だった。銭谷、榊野尾というナショナルチームのメンバーがいた。「これを落としたら勝ちめはない」と小島、宮川が歯をくいしばってダブルスを先取し、突破口を切り開いたのだった。このコンビは、和歌山、鹿児島両国体でも二連覇している強者なのだ。

を切る。この勝負に対する厳しさは、あとの二人にもしみわたる。国体一ヶ月前から本格的な練習に入る。三人ともタバコはまったくやめ、酒もビールをコップ2、3杯でいど。酒屋の息子でウイスキーなどボトル一本はあける宮川でさえ、そうだ。この宮川は体重八十七キログラム、二十八歳の若さでおなか少し出っぱり気味。それを菜食にかえ八キログラム減量、スタミナ養成に励んだ。三十三歳の鈴木監督は県内ではまだ現役選手。国体入りすると二十七歳の笠井と組んで、小島・宮川の相手をつとめる。負けん気の小さいが粘り強い笠井。この三人を温厚な鈴木監督がまとめる。和気あいあいの四人組で

ある。

「来年は海外へどんどん出て、さらに腕をみがく」と小島がいえば、宮川は「半年前から調整

実をむすぶ

大会前の節制

に入るぞ」。笠井も「スマッシュにもっと威力をつけてやる」。三連覇への意欲を既に燃やしている。

小島（ラケットショップ元町）が鮮やかにスマッシュをたたきこみ、本県バドミントン成年一般男子の優勝が決まった。二連覇である。小島がラケットを高々と放り上げて喜びを表現しようとするが、笑顔はない。ベンチから飛び出した鈴木監督（三菱重工）、笠井（関東自工）の顔はこわばっている。右足を引きずりながら駆けよる宮川（ラケットショップ元町）の姿が、苦戦の跡を物語っていた。初戦からストレート勝ちの快進撃を続けてきたが、この決勝は苦しかった。ダブルスで小島・宮川があっさり敗退。第1シングルの笠井も第1セットをセッティングのすえ落とし、ベンチに暗い影がよぎった。笠井は「負けてはいけないと緊張しすぎてしまった」と、このセットを振り返る。しかし持ち前の

強打がよみがえった。第2セットを競り勝ち、第3セットは「さあいけ」とベンチの声援を浴びて、気力のスマッシュを決めた。こうなれば切り札小島の存在が生きる。ファイナルをむき出しにして、中大の後輩である今泉をストレートで下した。「笠井が第2セットで14-13と追い上げられたときは、生きたこちがしませんでしたよ。でも、よく我慢してひっくり返してくれました」、鈴木監督は控室で初めて顔を崩した。その横で小島が「心臓が痛くなつてしまった」とため息をつく。三時間の大熱戦にどの顔も疲れきった表情だ。



めにやっていたれば、チャンスは回ってくるものです」としみじみもらした。三選手は国体に備えて、一カ月前から本格的な練習を始めた。今月中旬には大学選手と合同合宿を張って体力を養成し、スタミナに自信を持ったという。

「禁酒・禁煙、解禁だ」

「根性の勝利ですよ。富山はこれまで決勝へ出たことがないので、粘りにも限度があったでしょう。うちのメンバーには過去三度優勝の強味がありますからね」。小島が胸を張った。「小島のリーダーシップと笠井のがんばり、そして宮川の勝負強さ

だ」。競技委員長としてゲームを見守っていた内藤県協合理事長の言葉が、勝因をいいていえる。かんビールで祝杯をあげ、一カ月ぶりのたばこをおいしそうにくゆらす三選手。「今夜は博多で祝宴だ」と氣勢をあげた。

記念撮影をする後列左より小島選手、鈴木監督、前列左より笠井、宮川選手

第3回全日本家庭婦人バドミントン大会

やつぱりママは強かった

——大成功をおさめ、来年の再会を約束し合う

第3回目を迎えた全日本家庭婦人バドミントン大会が、11月11・12日の両日にわたって東京都江東区スポーツ会館に於て、参加チーム56、参加選手・役員四百人にも及ぶ盛大さで開催された。

関東地区では90チームもの参加による予選大会のあったブロックもあり、今や「ママさんバドミントン」の占めるものは、バドミントン界の中にも大きく膨らみつつあるようだ。

会場では、学生や社会人の大会では見られないなごやかな風景が至る所で巻き起っていた。腕白さかりの子供を追いかけ、教育(?)型、赤ちゃんにミルクを飲ませる保育型、パパに子供を任せた婦唱夫随(?)型、技術論に花を咲かせる勉強型、お菓子や果物に夢中なヒクニック型……これぞママさんバドミントンの醍醐味なのでありましょう。

しかし試合となれば話は別、懸命にシャトルを追う姿は真剣そのもの。その若さ溢れるハッスルプレーに、会場から拍手の渦が絶えなかった。

本部では、遠方よりはるばる駆けつけた参加チームに、手ぶらで帰しては申し訳ないと、大変な気のつかいよう。それも、Aブロックでは大阪代表が2位、兵庫代表が3位、Bブロックでは山口代表が優勝、大阪代表が2位、北海道代表が3位、Cブロックでは鹿児島・北海道代表がそれぞれ3位に入賞したのを見とけると、ほんと胸を撫で下した様子だった。

試合結果は次の通りです。

◇Aブロック

▽準決勝

和島中2	15	18	14	1
伊豆A	2	0		
西の宮	0			
工服				
藤部				

▽決勝

山口2	15	18	17	8
大阪家婦	2	1		
湯島	0			
岡辺				

岩村上井0	10	10	15	15
連大阪家婦	2	1		
寺小	0			
岡守				

御池前田2	15	15	4	5
連大阪家婦	0			
浪朝	0			
江井				

小瀬林2	15	15	5	8
連大阪家婦	0			
江井				
江井				

◇Bブロック

▽準決勝

山口2	15	15	3	0
流山	0			
保井				
保井				

▽決勝

山口2	15	15	5	10
流山	0			
保井				
保井				

▽決勝

山口2	15	15	2	0
連大阪家婦	0			
林	0			
小笠原				

真溜2	15	15	13	6
連大阪家婦	2			
米秋	0			
重山				

上宮辻本2	15	15	7	8
連大阪家婦	0			
出内	0			
野山				

◇Cブロック

▽準決勝

藤笹川部2	15	15	9	3
0				
上宮				
辻本				

▽決勝

藤笹川部2	15	15	4	3
0				
上宮				
辻本				

Aレデイス

柏倉島0	7	13	15	15
2				
高森	0			
橋				

石上田野2	15	15	10	9
0				
西坂				
鶴口				

大池山内2	15	18	10	15
1				
伊東				
村				

平渡井辺0	5	11	15	15
2				
大之瀬				
迫瀬				

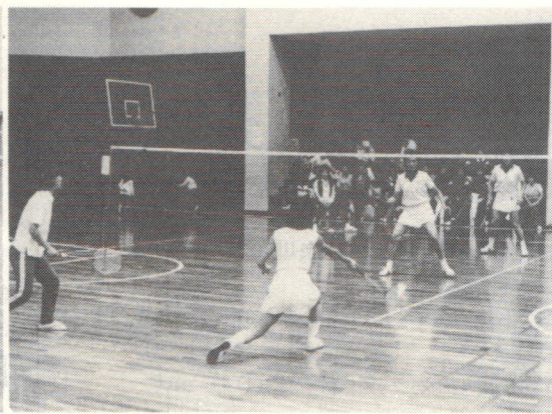
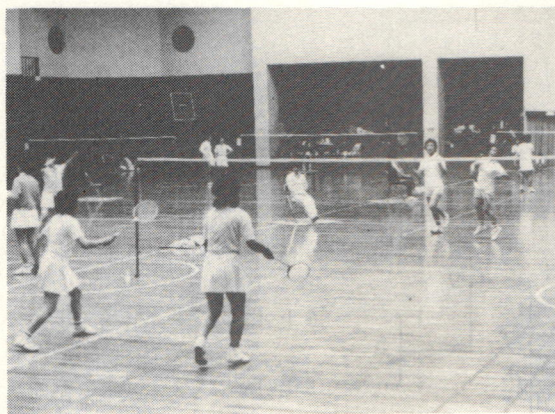
草加A	3	0		
Aレデイス				
上石				
野田				

松山本2	15	18	6	13
0				
上石				
野田				

金青井木2	15	15	2	5
0				
渡平				
辺井				

小柏島倉2	18	15	17	11
0				
大池				
山内				

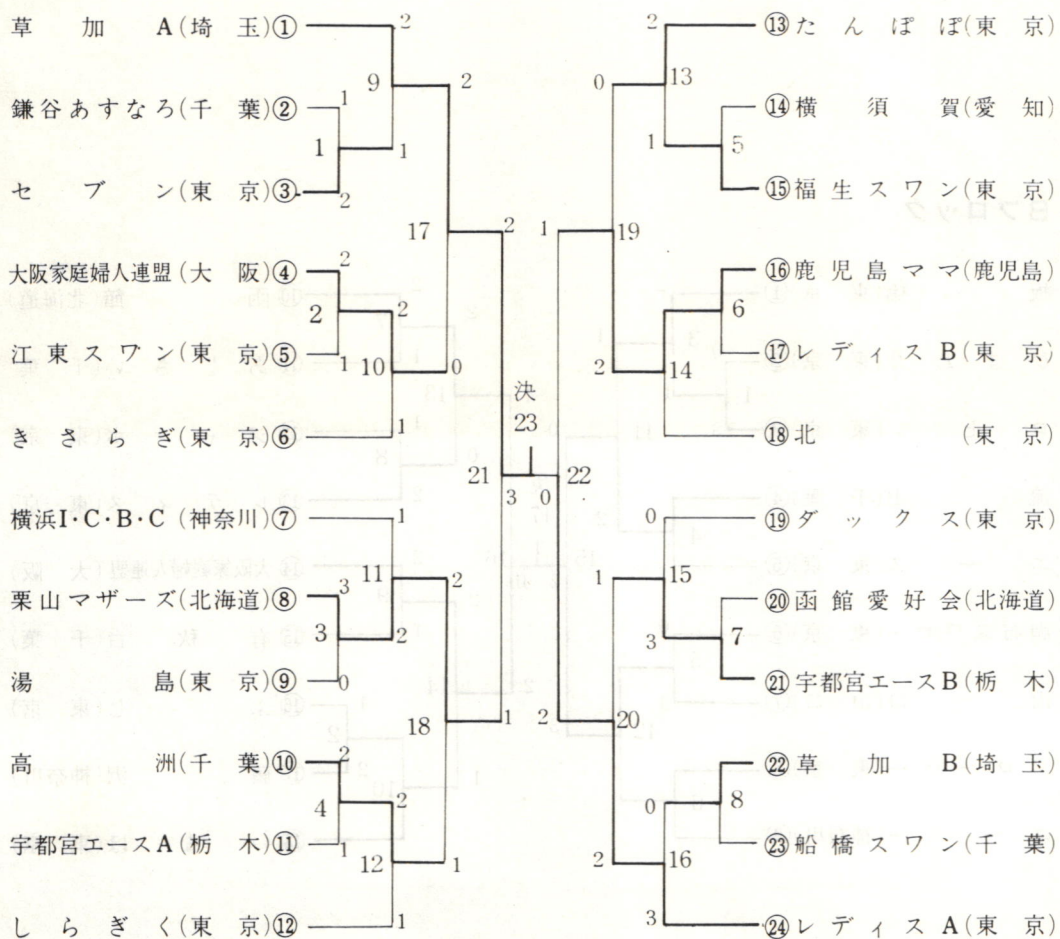




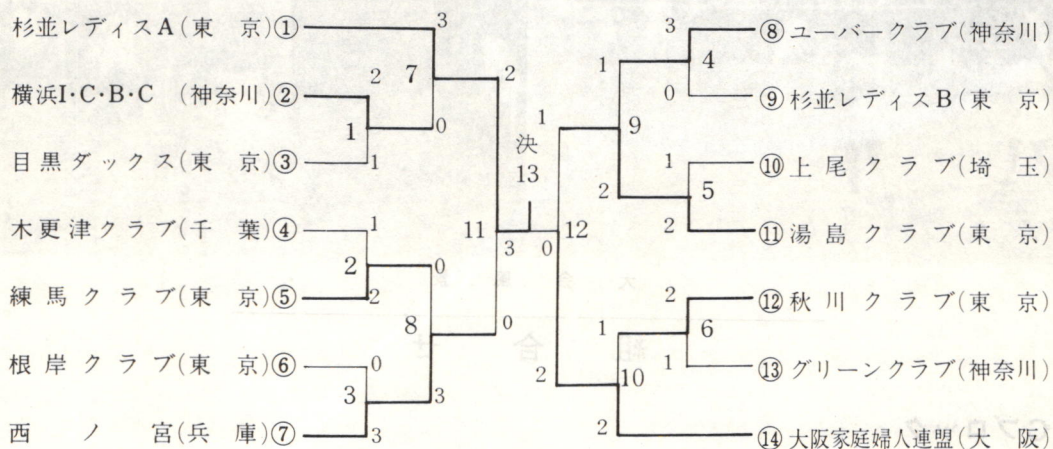
大会風景

組合せ

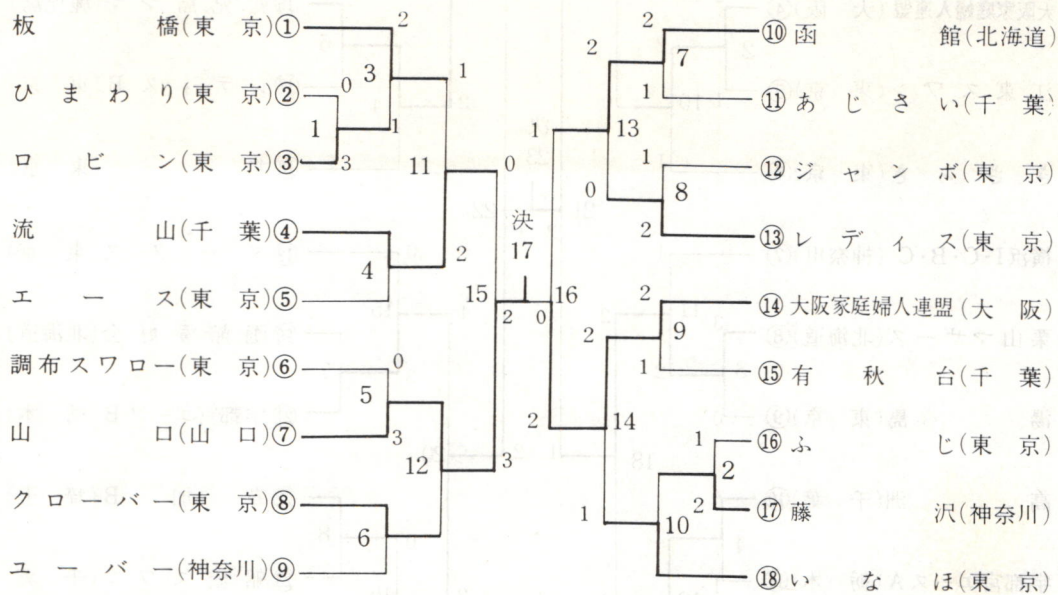
Cブロック



Aブロック



Bブロック





時速270kmの スマッシュ!

真っ黒いラケットから、真っ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利になります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

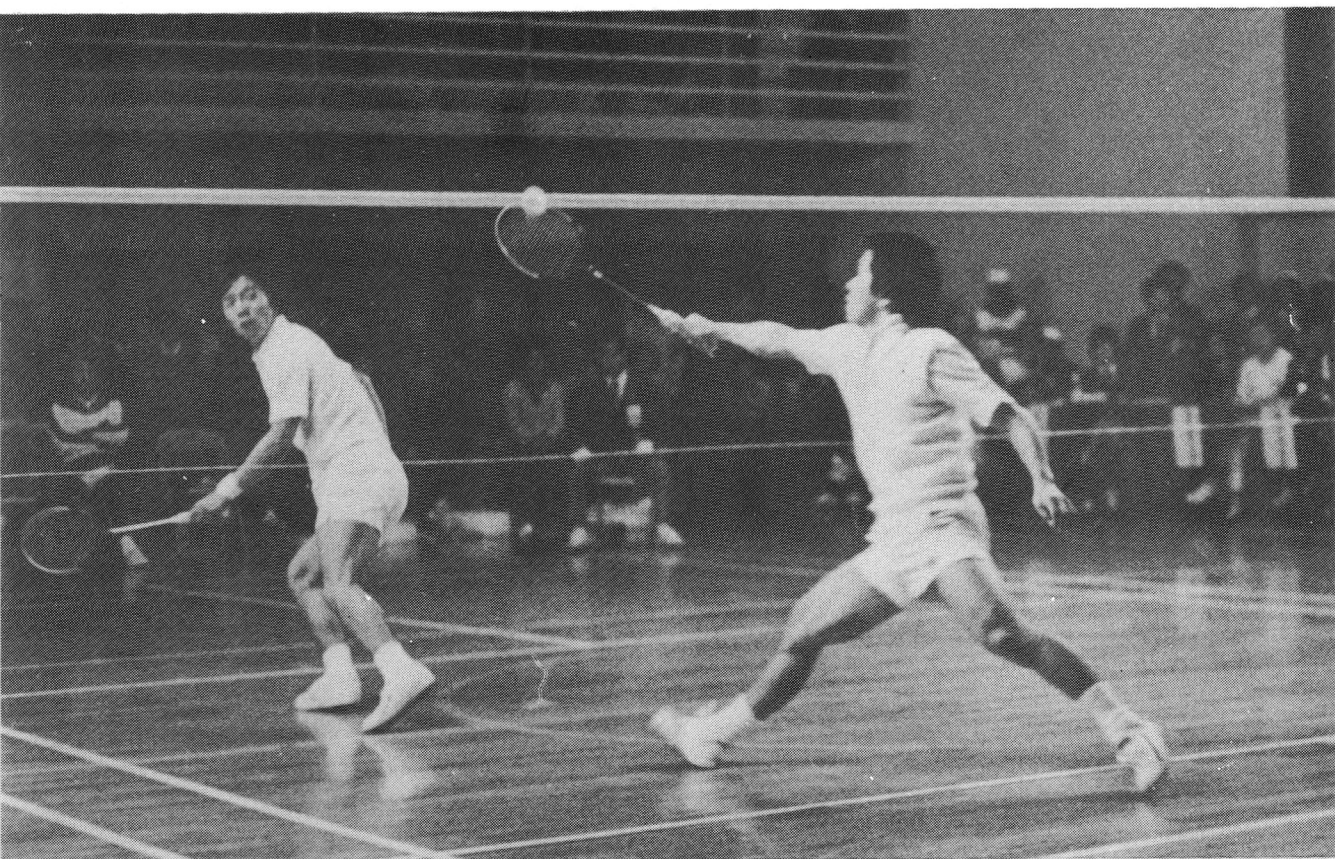
No.8100 BLACKEN

● No. 8100 ブラッキー ¥5,900

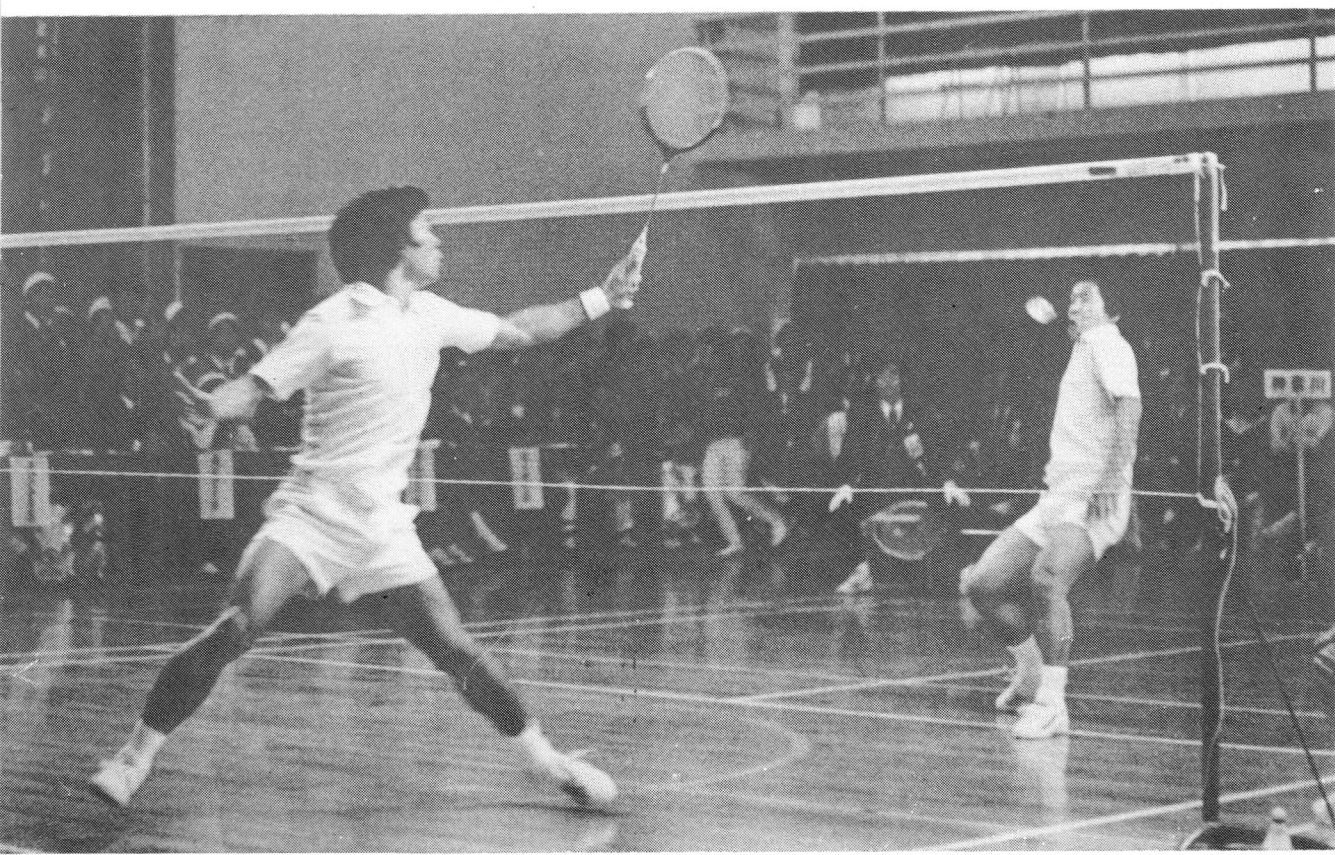


YONEX

第31回国民体育大会バドミントン競技



↑ ↓ 第1ゲームはこのようなネット際の攻防が数多く見られた

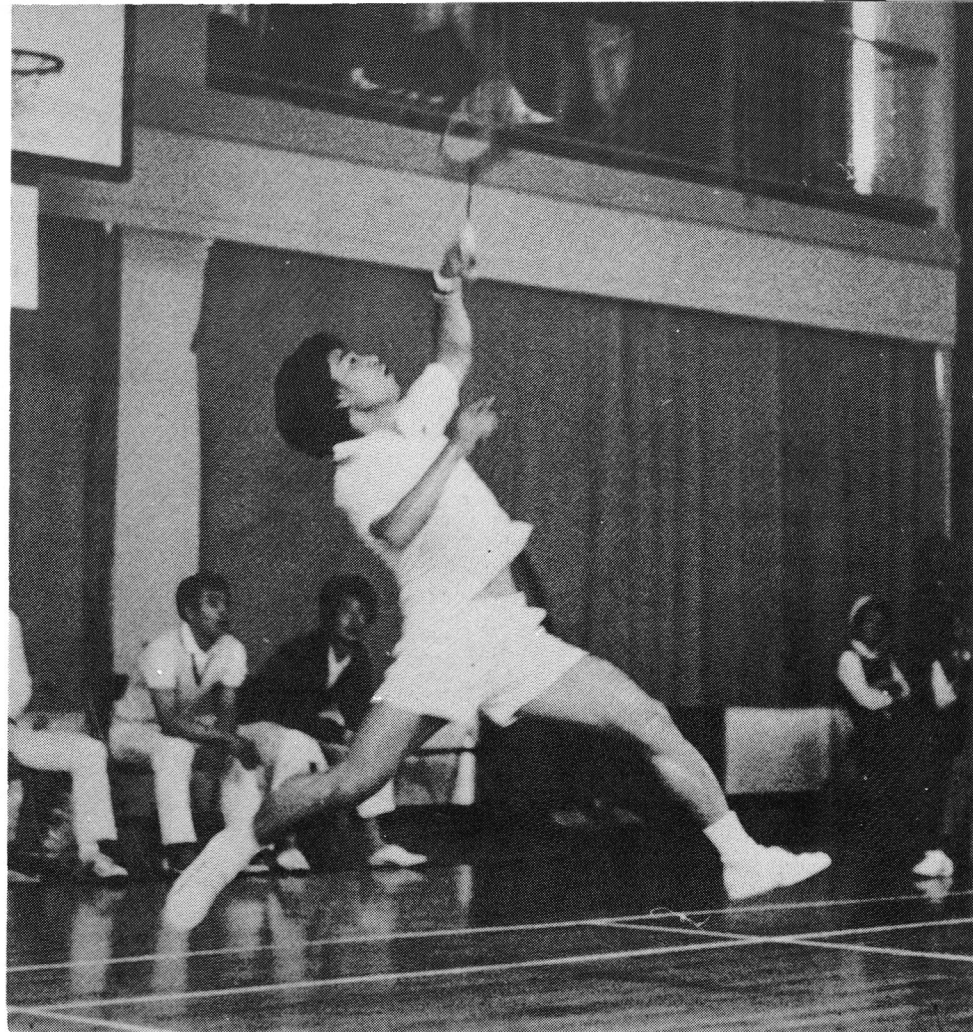




小島・宮川も決勝までは無敗だった



笠井(神奈川), 米沢(富山)の熱戦



単・複に健闘した今泉(富山)

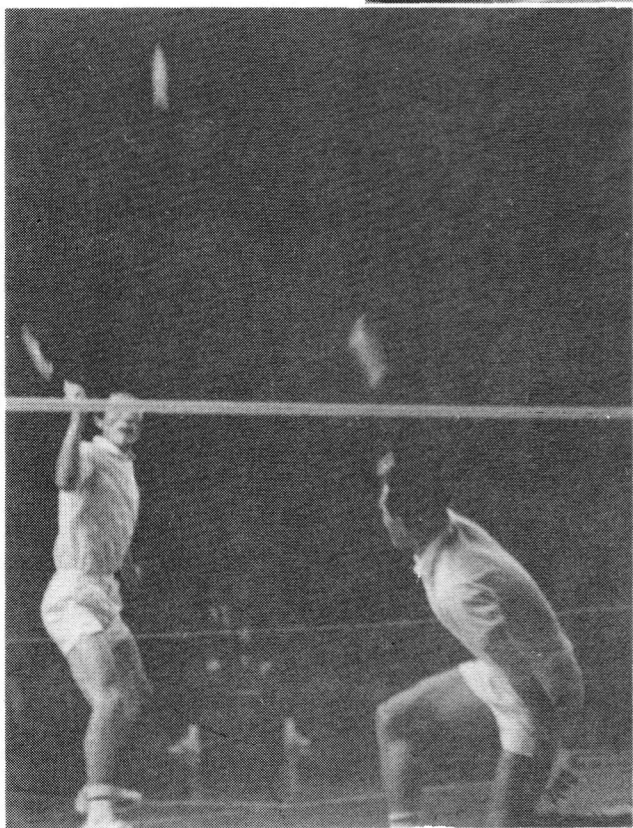
今泉・牧野(富山)はダブルスを先取したのだが



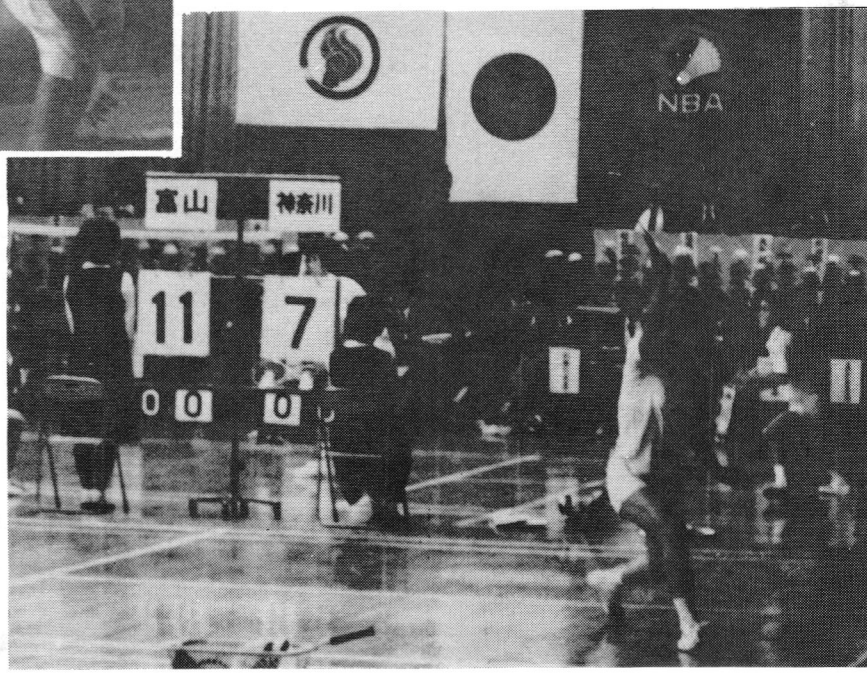
女子決勝戦



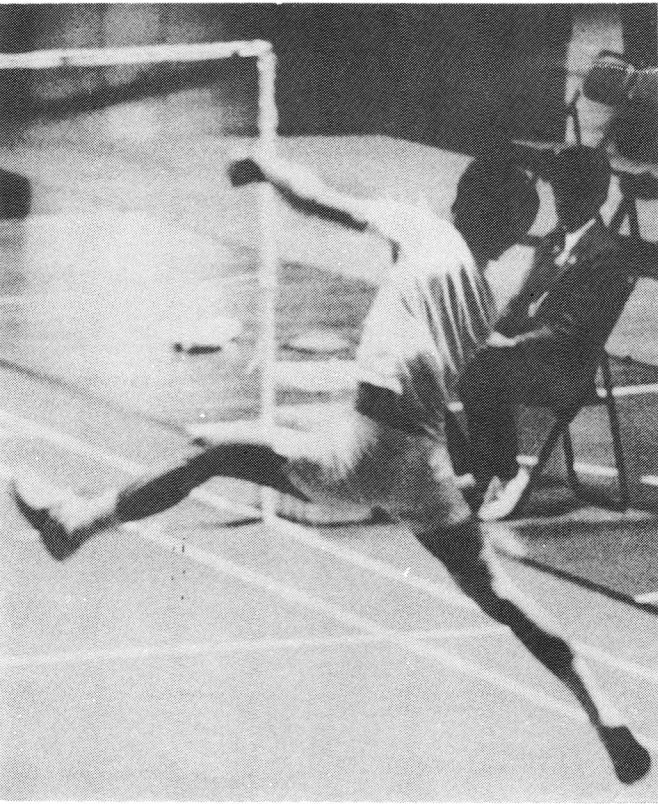
教員決勝の群馬の桐生(手前)対石川の長谷川



湯木がいるかぎり東京は負けない



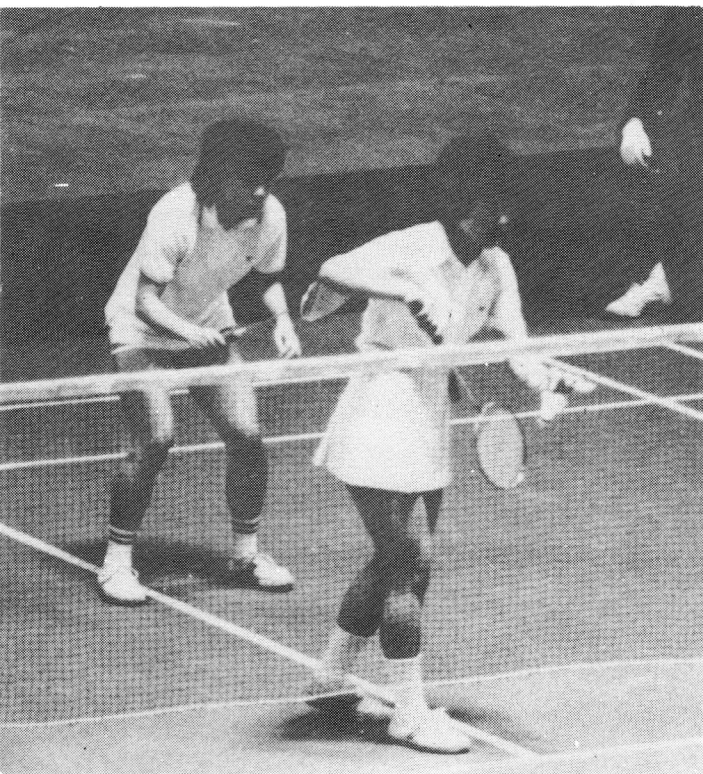
杯・秩父宮妃杯争奪 ドミントン選手権大会



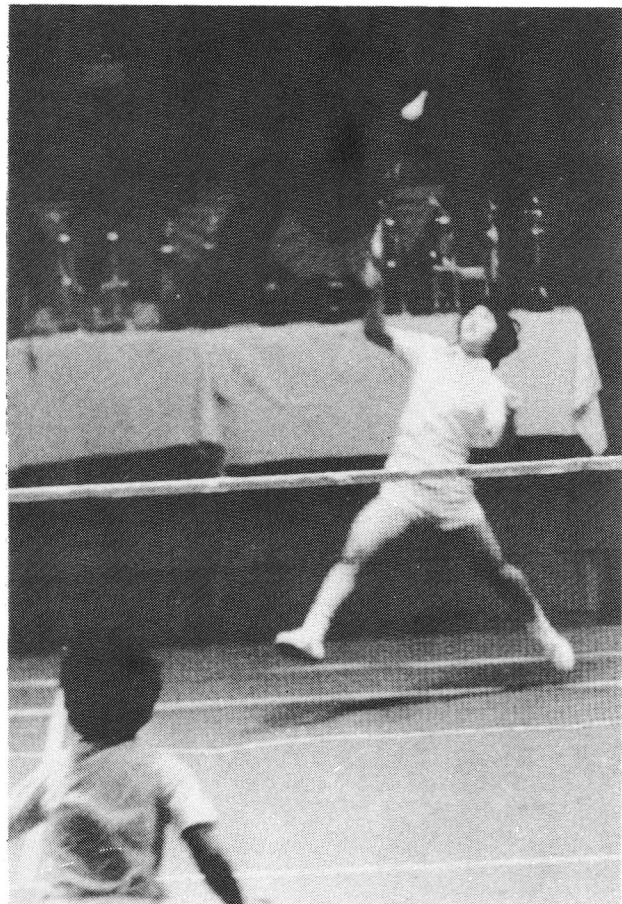
長谷川(中央大)の豪快なスマッシュ



2年連続優勝の中井・辻(法大)



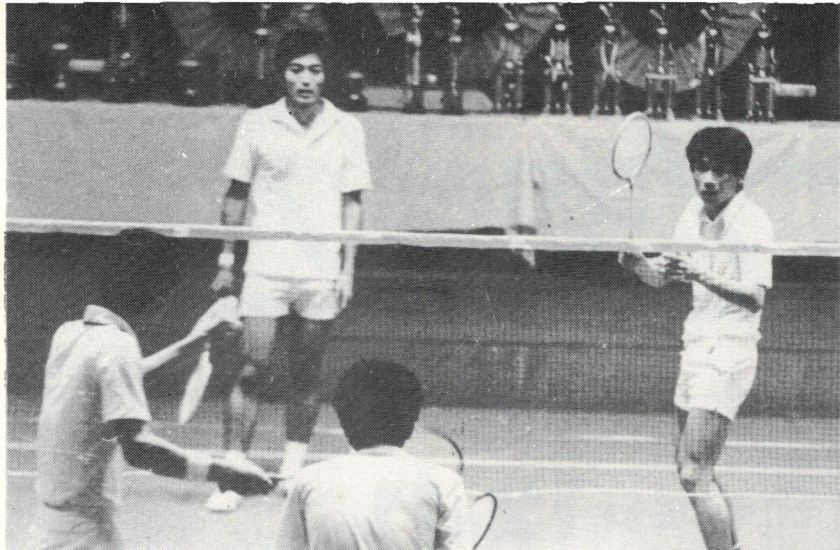
見事、金的を射とめた落合・佐藤(四条畷短大)



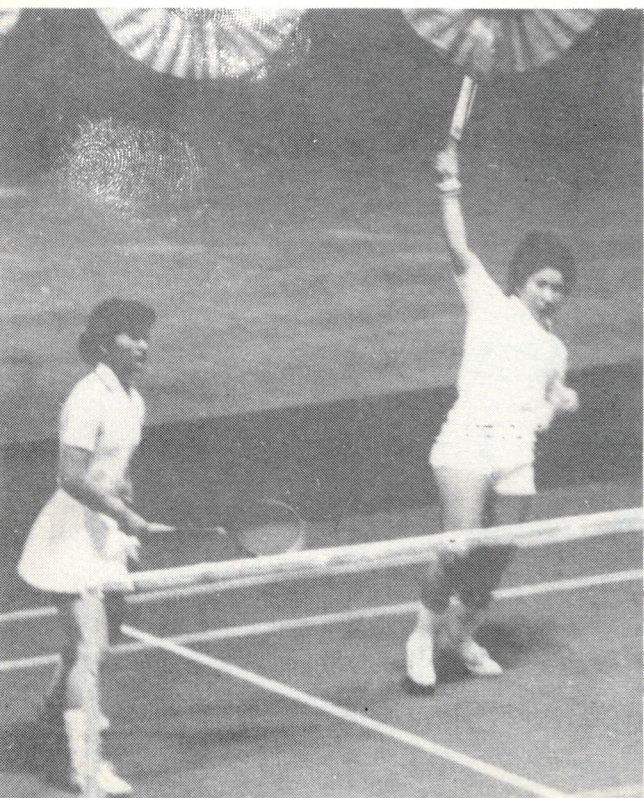
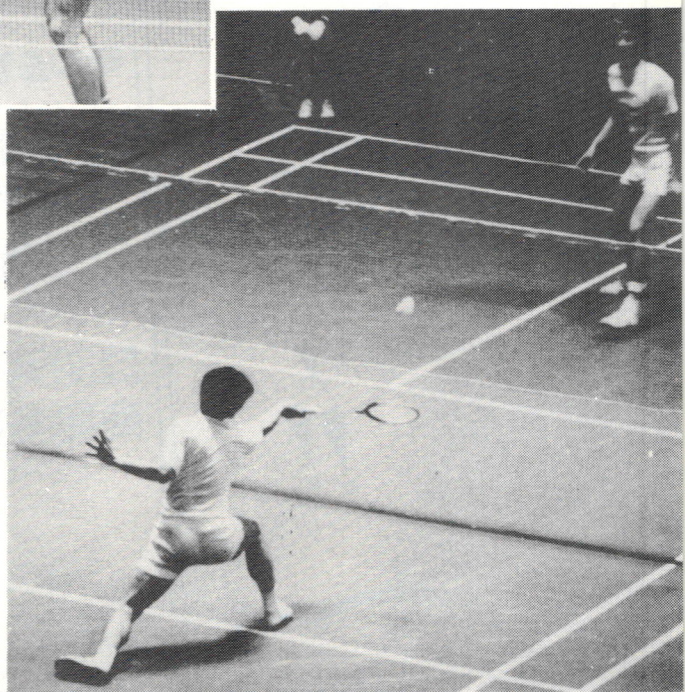
女子シングルスを制した高田(四条畷短大)

第27回秩父宮 全日本学生バ

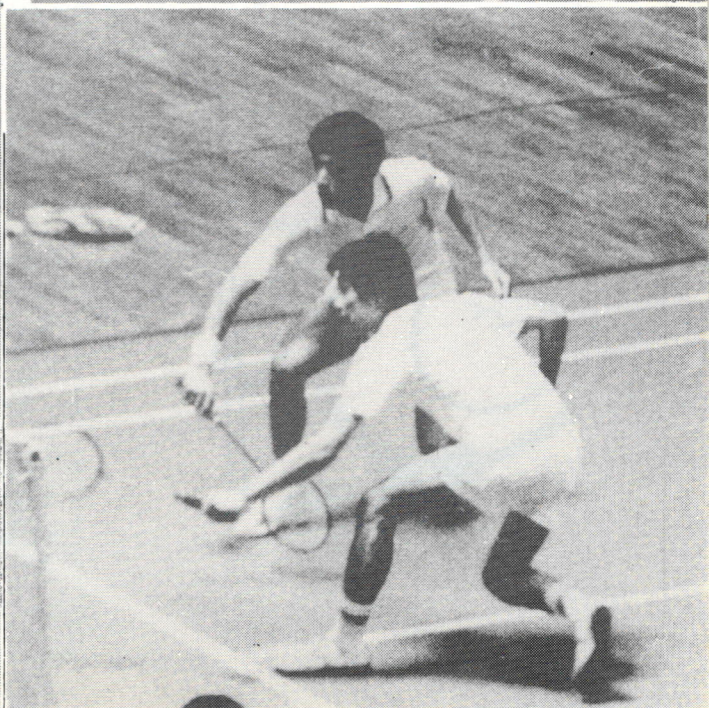
男子ダブルス決勝



舛田(日体大)もがんばったが



調子が出ないまま終わった千葉・松田(日女体大)



惜しくも2位にとどまった西村・長谷川(中央大)

ラケットショップ元町

よろしくッ!!

昭和51年12月11日(土)から
52年1月15日(土)まで
(12月31日・元旦は休業いたします)

◆全商品20%引き
(シヤトルは除く)

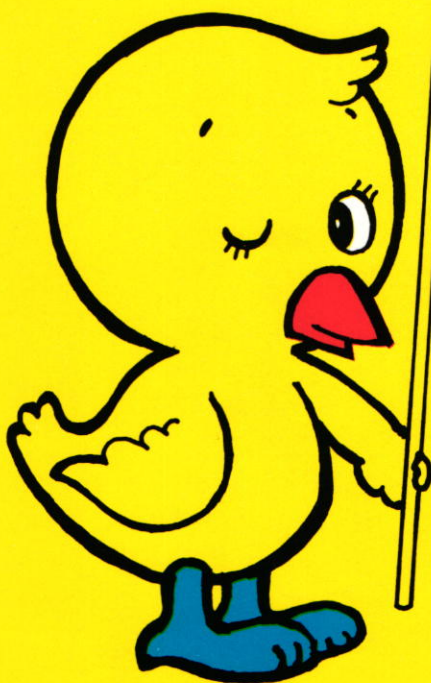
◆30%~40%引き
商品多数あります

セーター、ベスト、ウオー
ムアップ、タオル、バック
ソックス、シヤツ、ショ
ートパンツ、その他

開店3周年

謝恩大バーゲン

◎期間中……●10,000円以上お買上げの方には
「バドミントン界」出版77年度カラーカレンダー
を先着500名様に●5000円以上お買上げの
方にはヨネックス・ラケット掛を先着500名
様に●3000円以上お買上げの方にはDEFIリ
ストバンドをそれぞれ進呈いたします。



●横浜店 横浜市中区石川町2-84 ☎045(651)2020
●渋谷店 渋谷区渋谷1-25-6 ☎03(400)7390



感慨深かつた佐賀国体

—天野 裕子—

開会式の日、私はある一つの事に興味を感じた。開会式は、大会関係者の努力と協力のもとに盛大に行なわれた。何度も国体に参加した選手も、初参加の選手も、開会式には特有の緊張があると思うし、会場の観衆も初めて我が町で行なわれる全国的行事に対する関心と、期待の混った緊張がある。この緊張が式典を盛り上げたように感じた。しかし、私の興味は開会式ではなく、開会式後の試合からである。体育館に設置された六つのコートでは第一試合が始まった。地元観客が約九割を占める会場は開会式に反しもう一つ盛り上がりがない。良いプレーに拍手は起こらないし、また、何でもかんでも拍手する人もいる。「ルールがわからんけんね、帰ろう」という声を聞いて、十分に普及していない競技としてのバドミントンを感じた。そして私は最終日まで観客がどう変化するだろうか興味を感じたのである。

二日目、三日目と進むに従い、

だんだん変化が起きてきた。それはおもしろいほどだった。

そして最終日、体育館内満員の観衆は第一目と同じ地元の人々だった。がしかし、館内の熱気と、緊張は言い表わせないほど盛り上がりついていた。敵、味方を問わず、良いプレーには遠くの方からも拍手喝采し、残念ながらプレーにはため息が流れる。

「激しいスポーツだ」「楽しいね。バドミントンは」等と、あちこちで聞かれる。その他もろもろ、各選手のプレーに感嘆の声が上がった。

一日目「入った」「出た」と小声でライン際のジャッジをしていた観衆は最終日は、「イン」「アウト」と大声援である。短期間に皆に魅力と親近感を与えたものは何であつたのだろうか。

第一はバドミントン自身の競技の面白さが上げられる。しかしルールも知らなかった人達が何度も体育館に足を運びバドミントンの競技の魅力を見つけたのはどうしてか。

私は選手の熱心な競技態度等、

いろいろ上げられる中で、選手達の民泊が大きな役を果たしているように思う。ルールがよくわからなくても、「うちに泊っている選手が出るから」とか、「近所に選手が泊っているから」と応援に何度か体育館に行き、自然に魅力がわかってきたのだろうと思う。

民泊に対していろいろ問題もあると思うが、良い成果も大きいと思つた。私の聞いた民泊家庭の多くは歓迎しているし、選手達も、よくしていただいと喜んでいて。

そして、多くの人達が、これを機にバドミントンをやってみたいと答えてくれた事は大変嬉しかった。

持回り国体の意義を一つ見つけたようにも思つた。そして、私はここにある親子の会話を紹介して、終りにしたいと思う。それは総合開会式(10月23日)終了後の帰りのバスの中であつた。

「さっちゃん、今日はいい経験をしたね。もう国体はさっちゃん

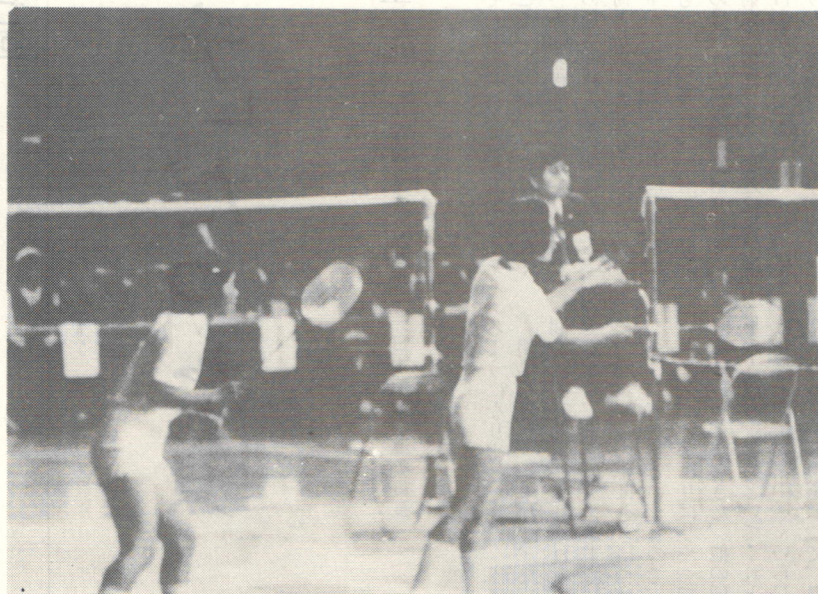
んが大きくなって、婆ちゃんにならんと佐賀にはこんのよ。その時、母ちゃん、けんちゃんに見に行つた事、思い出さなあいけんよ。その時は、母ちゃんも父ちゃんも生きていんと思つけん」

「何で？」

「国体いうのは各県ぐるぐる回つちよるんよ。だから今度佐賀へくるのは、ずーつと後の事なんだから」

「そつ?。今日の事よく覚えておくよ」

私の心に深く残つた会話だつた。



地元の声援を浴びる少年女子のペア

私の回顧録——「バドキチ」だった頃

伊藤基記——熊本女子大学教授・元日本協会指導委員長

前回、前々回にわたって私は、この稿で、中年ビギナーの心得として、上手な人のプレーをよく見ること、ショート・スマッシュを先ずマスターすべきこと、又こま切れの時間を利用し、生活全体としてバドミントンに挑戦する位の心掛けが大切であること、そして、全体的な基礎的体力として、懸垂と跳躍が重要な役割をめていることについて述べたと記憶しています。

さて今回は、三十八才からバドミントンのラケットを握った著者の自慢話をさせていただきます。

公式的なバドミントン上達のセオリーばかり述べても、やはりなにか、他人からの借りもの

を集めたよう、隔靴搔痒の感がないでもありませんでした。従って、今回は敢えて年寄りの冷水的、回顧録に眼をかせていただきたいと思います。

(一) 早朝に挑む

今から二十数年前の時代、バドミントンができるような体育館はまさに稀少そのものでした。熊本も御多聞にもれず、何とか見える体育館はあっても、先進のスポーツ種目が沢山あっていうなれば、会場そのものが飽和状態であつて、バドミントンがはいり込む余地があらう筈がありません。日本の体育の大御所の存在の先生方の中には公然

と「バドミントンは羽根つき遊びだよ、あんなものスポーツじゃないよ」とうそぶく人がいた位の時代でしたから、封建気風の強い地方では、特に風当りが強かったことは否定できません。現在でも、これに近い考えの体育人が五万といることは一応計算にいておく必要があります。このことは誰がよい悪いという問題でなく、要するに歴史的な必然性の上の現象であつたし、現在もその名残りは充分あるのですが、何しろ、練習場や大会会場を見付けるのに、今からでは想像もできない手間がかかったものでした。私の勤務する熊本女子大学も当時はやつと一面とれる講堂があるきりで、

それも天井の高さが五米そこそこで、ドリブン・クリアでもやつと通る程度のもので、お隣りの熊本商科大学の体育館なら、何とかやれる天井の高さなのですが、何しろ、日中は、さき程も述べたように、バドミントンのはいり込む隙間はありません。窮余の策として、私達は早朝練習を思いたちました。「朝、早うならよかたい」という許可をもらつて、照明のない兵営改造の体育館に朝六時頃集合しました。冬などはまだ暗くてバードが何と見えるようになるまで、かけあしや体操をやつたものでした。それがだんだんとエスカレートして、第一時限に授業のないものは、十時過ぎまでねば

るようになりました。

朝早く起きさえすれば、二時間から四時間たっぷりやれるのですから、まさにテンホーでした。それに世の中はさきにつばをつけた方が勝つというもので、バドミントンがばりばりやつていると、あとからきた、他の種目の人達も、おいどいてくれとはなかなか申し出にくいらしく、実績？がものを云つて、九州大会などで優勝するようになると、照明もつき、ラインもテープから、実線にかかわるというわけで、いつの間にか、コートの使用権？のようなものを獲得してしまいました。

早朝だけでは物足らず、夕方から夜にかけても、どこの体育

館が使用可能とわかれば、自転車やかけあし、バスで、かけて、チョークでラインをかいで頑張ったものです。残った問題はシャトルでした。こわれたシャトルの折れていない羽根をぬいて集め、曲り具合を見て（陸鳥オンリーでしたから）、別のシャトルの折れた羽根に植えかえ、ゼラチンなどをつけ、

糸かがりをして、再製シャトルをつくり、スマッシュには少し気兼ねをしました。努力をしたとか頑張ったというものではありません。とにかくやりたくて仕方がなかったものです。コートに近づいて、バードを打つ音がきこえると、いつの間にかかけあしになり、靴のひもを結ぶ手がふるえたものです。寝て

もさめても、心はバードを追いつちづけていました。まったく「バドキチ」であり、「バドミントン病中毒患者」でした。然し、私はこの病気にかかったことを今でも全く後悔していません。紙数がつきたようです。このつづきは次号で。



ユーバー杯奪還への道

代金後払いにて発売中

● 体裁 A5判128ページ、うちカラー16ページ

● 主な内容

第I部 大会経過と試合全記録

☆ 必勝の念で出発☆ 波乱を含み準決勝へ☆ ベック接戦の末敗る☆ 日本ついにV4ならず☆ ユーバー杯チーム合宿記

☆ 観戦記・決勝全ストローク・プレー

第II部 ユーバー杯奪還対策をさぐる

☆ これからの若手育成が肝要（小宮淳宏）☆ 選手よもつと自分にきびしくあれ（中山紀子）☆ 全世界に眼を向けよう（福井正康）☆ 背水の陣で総力をあげてがんばろう（片岡輝明）☆ 第7回ユーバー杯大会日本チーム監督として（小飼栄一）

第III部 オフ・ザ・コート

☆ 忘れられないこの一年間（中山紀子）☆ SAI PON???（福井正康）☆ 選手団日記

● 定価1000円

● 申込方法 〓 ハガキに住所・氏名・申込部数を明記のうえ、左記あてお送りください。

● 申込宛先 〓 〒150 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一・岸記念体育会館内・日本バドミントン協会出版局ユ杯係

27

いよいよさあ

①

渋谷バード

クラブ

(S・B・C)

全員集合!

今回より「われらのクラブ」と題しまして、年令、職業、はもちろん、一流プレーヤーからママさんバドミントンに至るまで、一般、学生を問わず、バドミントンのあらゆるクラブをご紹介します。
 “楽しいクラブ” “厳しいクラブ” “名門クラブ” “新設クラブ” いろいろな“クラブ”が登場いたします。
 どうぞお楽しみに!!

◆ 皆さん渋谷の街をご存じでし

ようか。では公園通りはいかがですか。ハチ公前から西武デパート、パルコ、NHK、国立競技場、原宿に至る、今や渋谷で最もファッショナブルな通りです。その中程に私達のホームコート“渋谷勤労福祉会館”があります。

◆

会館完成と同時に、バドミ

ントに深い理解のあった初代館長の呼びかけにより、かねてよりバドミントンの普及に腐心されて来た東京都バドミントン協会理事の清水先生を中心に、初心者を対象としたS・B・C・(渋谷バードクラブ)が発足しました。一九七二年七月のこと

です。経験者と初心者がほぼ同数でしたが、教えることのできる人はごくわずかだったように記憶しています。

◆

とにかく、それらの人々について右も左も判らず、ただ練習を重ねて来ました。区民大会に出てS・B・Cの名を覚えてもらえるようになったのは、この

二・三年ぐらいです。

◆

その間に多くの人が入会し、去って行きました。クラブの練習内容も、ムードも、そのつと変って来ました。指導体制が一貫していなかったというより前に、クラブ自体の意義と目標があいまいだった為と思われる。

◆

それは色々な考えを持った人々の集まりである社会人クラブの、必ず通らねばならない過程であったと痛感しています。
 私達が知っている限りの社会人クラブは、学生時代に活躍したような人を中心に、そのリーダーに頼っている部分が多いよう



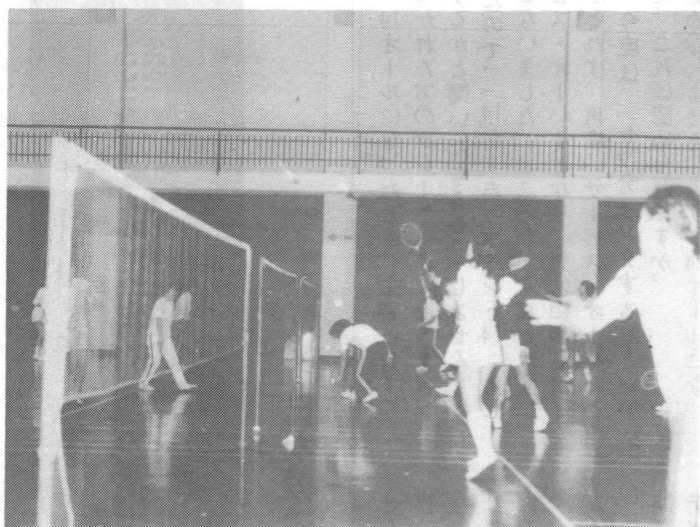
です。私達のクラブも同じです。しかしいつまでもそうした他力本願の状態ではいけないと感じています。今後はクラブの中堅を中心に、彼等がクラブのムードをつくり、リードしていくという体制に移っていくべきだと考えています。そういう時期に來ていると思われまゝ。クラブとしての余裕ができた証拠でしょう。

◆
そして行く行くは、私達のク

ラブの初心者、優秀なプレーヤーに育てて、それをクラブの名譽とするような、そんなクラブを夢見ています。

◆
幸い一年ほど前から小島先生（R・S元町）にも指導していただく機会を得、私達も渋谷区では常に上位に位置するまでになりました。夢への第一歩を踏み出したところです。

◆
午前の会員は三十名。会費は



練 習 風 景



一ヶ月千三百円。

九時半からランニング、体操、素振り、オールロング、オールショット等の実戦的練習の後、練習試合を行い十一時四十五分より最も苦しい腹筋、背筋、下半身等の強化トレーニングが待っています。午前の部はママさんが会員の殆んどを占めていますが、全員、歯をくいしばってこのトレーニングに耐えています。小島先生の激励がママさん達の限界を日々延ばしているこ

とは明白です。

◆
夜の部の会員は四十名。男女半数ずつ。資格は勤労者に限つています。会費は三ヶ月二千五百円。

毎週木曜日の午後五時半、一日の仕事を終え、三三五五渋谷勤労福祉会館二階の体育館に仲間が現われます。六時をまわるところには、三面のコートはほぼ満員。各自、自由に基礎打ちや、試合を楽しんでいます。六時三

十分、メンバーもそろい、ウォームアップしたところで全員体育館を十周のランニング（女子は五周）、準備体操の後、素振り、フットワーク、各部分の強化、その日のテーマ（オールディフェンス、2・1等）と続き、八時から練習試合を行います。年間計画から割り出された、その月、その週の練習予定はあるのですが、欠席や入会、退会によつて予定通り運ばないのが悩みの種です。

◆
八時四十分ランニング、整理体操、コート清掃の後解散、シヤワー室へ。まだ終りません。夜の渋谷は誘惑が多いのです。行きつけの店でまだほてっている身体に冷たいビールを流し込みながら反省会（？）を開きます。

◆
こうしたアフターバドミントンから結婚へゴールインしたカップルも何組あります。もちろん進行中もあるようです。

◆
バドミントンに自信のある人、初心者でもガッツのある人、そしてお酒の強い人ももちろん。とにかく、毎週欠かさずクラブに参加できる人を歓迎します。

審判に関する100問集

⑦

日本教職員バドミントン連盟編

問73 14オールになったとき、主審として、

追いつかれた方のプレーヤーに「セッティング」するかと聞いたところ、「しません」と答えたので、「14ゲーム・ポイント14」としておこないました。ところが、1点とれずにサービス・オーバーとなり、更に相手もポイントがとれず、再度、サービス・オーバーとなり、今度は、「セッティングする」といいました。これは認められますか。

答 認められません。最初に14オールになったとき、セッティングしなければ、そのゲームでは、セッティングの状態は生じません。（第1編問53以下参照）セッティングは、13オールまたは14オールになって、次のサービスのシャトルが打たれない内にするとありますから、この場合、もうセッティングはできません。（規則7条の1）先に1点とった方が、このゲームの勝者となります。

問74 13オールのとき、「セッティング」しないで、14オールのとき、するのはかま

せんね。

答 それは、かまいません。13オールに追いつかれた側が、セッティングしないで、再度リードされ（13-14）、もう一度、14オールに追いついたときには、セッティングできません。競技規則7条の3は、そういう意味ですからね。

問75 女子のシングルスで、10オールのセッティングのとき、3点までやってしまいました。ゲームオーバーを宣したあとで、間違いに気づいたのですが、どうしたらよいでしょうか。

答 結論からいいますと、訂正することはできません。女子のシングルスのセッティングは、9オールのときは、あと3点、10オールのときは、あと2点ですね。（規則7条の2）これを審判もプレーヤーも気づかずに、3点までやってしまったのです。次のサービスがなされる前、すなわち2点とったときに気がつかないで、次のサービスがなされてしま

うと訂正できないのです。（規則24条）
まして、ゲーム・オーバーが宣せられたらば、そのゲームは、その時点で終了です。

問76 シングルスで、サーバーの得点が0や偶数点のときは、右側のコートから、奇数点のときは、左側のコートからサービスするのです。それなのに、セッティングのときは、0なのにサービスコートが右のときや左のときがあつて、よくわからないのです。

答 セッティングは、そのゲームの延長戦のようなものですから、前のポイントに加えたものが、そのゲームのポイントになるわけですから、1点ゲームのときの9オール、15点ゲームのときの13オールになったときのセッティングが、この問題点になるわけですね。この9または13が0になるわけですから、以後のポイントが奇数と偶数が逆になるわけです。セッティングのときのカウントは、なれていてもよく間違えることがあります。

セッティングの意味は、実力伯仲で両者がもう1点または2点で、ゲームが終了というとき、改めて短いゲームをセッとする（設ける）という意味で、規定のポイントより長いゲームになるわけです。

したがって、カウントも改めて0から始めることになりませんが、記録上は、前のポイントにセッティングのポイントを加えたものを書くことになります。これは、練習を重ねて、早くなれることが必要ですね。

問77 ダブルスのとき、セッティングして「0 オール」とコールしますが、そのときのサービスは、そのゲームの最初の状態にもどすのですか。

答 いいえ、前問でも説明しましたように、セッティングは、そのゲームの延長戦みたいなものですから、カウントこそ0からはじめますが、すべて前の続きです。

従って、ダブルスの場合は、セッティングの時、ファースト・サーバーならば勿論、その続きで、ファースト・サーバーがサーブするしセカンド・サーバーならば、セカンド・サーバーがサーブします。ゲーム開始のときのように、最初サイのインサイドは一人しかサービス権がないというのとは違います。

第9章 判定に関するトラブルの事例

問78 試合中、線審が「イン」といったのに、主審が、今のはアウトであるといって「アウト」を宣しました。これでよいのでしょうか。

答 文字通り解釈すれば、明らかに主審のつけた処置はまちがいです。(規則28条)

線審は、担当ライン(問21参照)については、唯一、最終の決定者ですから、主審といえども、これをくつがえすことはできません。ただ前に、審判法の章でものべたように、主審が自分の側のラインについて担当することもありますから、その場合は、当然主審が判定するのですよ。

ただ、次のような例がありますから間違わないで下さい。

ダブルスのサービスで、レシーバーが見送ったシャトルがロングサービスラインとバックバウンダーラインの間に落ちたと主審はみましたが、線審は、シングルのサービスコートと感じがいて「イン」と判定したような場合です。

主審は (イ)線審に、今の落下点を確認させる。(指などで示させる)。

主審のみた落下点と同じならば、線審に規則の解釈の違うことを教えて、訂正させ「アウト」と判定します。

(ロ)主審のみた落下点と違うならば、(主審が見違えることもある。)

線審の判定通りゲームを進行する。

この際、プレーヤーや他の人の意見がはいらないようにすることが大切です。(規定23条・同28条)

問79 線審をしていて、自分は「イン」と判定したが、もう一人が「アウト」と判定しました。仕方がないので二人で話し合って、結局、「アウト」にしました。これでよいのでしょうか。

答 大切なのは、その判定のラインが、どちらの線審の担当ラインであるかです。線審の判定は、担当ラインについて(問34参照)は、最終のものですから、担当ラインの方の線審

の判定を採るべきです。(規定28条)ただ、中間点に落下したような場合は、問題ですね。その場合、落下点を確認し、一致すればよいのですが、どうしても両者の意見が一致しないときは、「レット」とすべきでしょう。

問80 試合中、プレーヤーが主審の判定に不服で、これに従わないとき、どうしたらよいでしょうか。

答 バドミントンは、主審の判定が最終のもので、それから、プレーヤーはこの判定に従わねばなりません。(規定21条)

もし、主審の判定に対して疑問のある場合は、質問することは認められています。しかし、断じて、抗議や異議は認められません。

(規定71条)従って、主審の判定が、規則上誤りがない限り、その判定に従わないプレーヤーは、その試合を放棄したものとみなされます。(規定27条)

しかし、規則上の解釈について疑義がある場合は、審判長に提訴することはできます。(規定21条)



New Products Information

有名スポーツ店で販売しております◆

●ヨネックススポーツ

美しさと機能の出会い

さわやかなウエア

スポーツをする人は、スポーツウエアにどのような意味を持たせているのでしょうか。ヨネックスでは、そこにポイントをおいて、ウエア作りに専念しています。

「青い空と緑の大地」果しく豊かに明るい、心の広がりを感じさせる。それは今、スポーツの世界だけではなく、世界中の人々が望みを託していることでもあります。その果しない人間根源の願望を、人々と共に追い求めて行くヨネックス。その基本精神のもとに、ヨネックスのウエア作りがなされているのです。爽快なホワイトを基調とした「ブルー&グリーン」のカラー・コーディネートは、その象徴であり、スポーツを愛好する人の合い言葉でもあります。ヨネックスは、スポーツを愛する人の心を知り、年齢をこえ性別をこえ、そして国籍をこえ

て、スポーツをする人すべてにそれを訴え続けているのです。そのヨネックスが、今年、スポーツウエアというより、もう一つ押し進めたフレイウエアを発表いたしました。

スポーツをする人々の、ウエアに対する要求のほとんどは、着やすさ、扱いやすさであり、その良好な状態が持続するものであるということ。フレイのしやすさを第一に考え、必要のないものを一切省くことから始まり、そして決定的なポイントを捕えるまでに至ったのです。それが、今年のヨネックスウエアであります。

フレイヤーのためのウエアであり、その素材もウエアの用途によって決定されているのです。そして、機能面の追求からウエアの基本を定め、その上でデザ

インを決定しました。本年度のウエアのもう一つの特徴は、「トータル・デザイン」にあります。これまでの消費傾向から出された結論でもあり、どのような組合せをとっても、スッキリまとまる「ヨネックスのウエア」ということで、いつでも、どのようにお求めになっても、統一されたスマートさを安心してお求めいただけるようになりました。

ヨネックスは、スポーツウエアを超えたフレイウエアを提供し続けます。



ヨネックス・スポーツウエア

新製品紹介コーナー

◆このコーナーで紹介した製品は全国

●
ゴーセン

ハイトーマス



ハイトーマス (ゴーセン)

No. B 45
¥4500

今度わが社では竹製なればこそ發揮できる威力が、バドミントンのフレイに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンフーラケット《ハイ・トーマス》を誕生させました。

特長は、竹と木による合板のため、フレイムが強靱、竹の特性と細くて長いテーバーシャフトにより反撥力と反撥音が抜群、薄いフレイムに竹独特の強さで、振りがシャープになり素早い動きがてき、また、ガット張りに

No.1900

ウインテックス

¥700 ●ゴーセン



ウインテックス (ゴーセン)

よるラケットの変形がないなど、竹の特性を生かした利点が多く、スピード・パワー・スマートを要求する近代スポーツに必ずマッチすることでしょう。

すでに好評を博しているゴーセンがガットの中で今爆発的人気を呼んでいるのがこのカーボン入《ウインテックス》ガット。この《ウインテックス》は超強力カーボン芯にカーボンファイラメントをらせん形に巻き付けたもので、ステンレス・ワイヤーつきのため、長時間ゆるみがかず、耐久性にすぐれ、鋭い反発力が得られる。

また特殊性油とカーボンファイラメントの作用によつて温度、湿度の激変にも変質せず、すばての点で従来のナイロンガットにまさるものです。

チャンピオンを目指す諸君のラケットにこのゴーセンの技術陣が創りあげた傑作《ウインテックス》が必ずや、フィットするはずで。

中 沢 静 夫 13923	蓮 子 健 三 13924	泰 浩 13925	石 田 裕 13926
高 橋 悦 子 13927	元 岡 康 子 13928	蓬 原 美 枝 13929	青 木 芳 子 13930
横 渡 千 鶴子 13931	坂 井 美 枝子 13932	小 河 美 紀子 13933	山 本 真 基子 13934
竹 内 ヒロ子 13935	千 川 和 子 13936	飯 田 玲 子 13937	
遠 藤 滋 郎 13939	西 原 義 久 13940	中 溝 達 義 13941	別 府 光 治 13942
清 信 雄 13943	宮 島 実 13944	下 谷 博 13945	松 井 徹 13946
堀 込 晃 13947	岸 田 一 恵 13948	白 木 るり子 13949	柳 沢 義 和 13950
野 村 成 雄 13951	上 坂 勝 則 13952	白 石 清 美 13953	小 津 善 久 13954
日 暮 薫 13955	蛭 田 清 美 13956	豊 島 ユキ子 13957	秋 田 房 子 13958
長谷川 美 恵 13959	井 上 健 三 13960	柚 木 隆 13961	山 田 幹 子 13962
菅 原 稔 13963	熊 谷 和 夫 13964	松 尾 正 秋 13965	直 江 幹 夫 13966
小 島 南海雄 13967	南 好 雄 13968	北 川 守 雄 13969	笠 井 知 吉 13970
佐 藤 国 晴 13971	森 山 美 奈子 13972		

山口県バドミントン協会

審査委員 石 原 幸 雄
津 守 幸 介

押 川 俊 明 13973	藤 井 喜久男 13974	佐 藤 賢 順 13975	高 橋 修 二 13976
上 田 節 夫 13977	柴 崎 文 夫 13978	高 橋 敏 茂 13979	山 本 富 男 13980
福 原 繁 雄 13981	飯 田 正 13982	吉 村 正 13983	別 府 達 弘 13984

鳥取県バドミントン協会

審査委員 津 守 幸 介
佐々木 義 政

岡 照 徳 13985	小 野 宗 一 13986	宮 本 良 博 13987	倉 本 仁 司 13988
安 部 一 夫 13989	柏 木 慎一郎 13990	阿 部 孝 造 13991	柏 木 茂 樹 13992
瀬 尾 昌 玄 13993	田 村 周 三 13994	石 井 幹 13995	西 原 満 昭 13996
松 浦 正 樹 13997	市 川 志 郎 13998	中 村 薫 13999	森 上 文 子 14000
中 村 まゆみ 14001	奥 宮 泉 14002	林 保 子 14003	釜 田 登美子 14004
上 杉 ヒロ子 14005	扇 野 フミエ 14006	安 達 ひろみ 14007	岩 本 利 子 14008
村 田 靖 子 14009	萩 原 冬 男 14010	安 原 砂 雄 14011	金 坂 秋 博 14012
岩 崎 儀 夫 14013	柏 木 功 次 14014	篠 垣 美 紀 14015	前 原 真 文 14016
山 本 展 子 14017	渡 部 桂 子 14018	谷 口 葉 子 14019	安 部 みゆき 14020
安 部 よしか 14021	景 山 多美江 14022	由 永 元 子 14023	遠 藤 里 加 14024
岩 田 幸 恵 14025	竹 中 弘 美 14026	先 灘 智 栄子 14027	門 永 あさみ 14028
松 本 淳 子 14029	細 川 純 子 14030	藤 岡 美 保 14031	倉 敷 裕 子 14032
太 田 きよみ 14033	野々口 智 子 14034		

東京都バドミントン協会

審査委員 組 村 明
太 田 耕 貴

柿 谷 康 夫 14035	長 田 悦 子 14036	篠 崎 美 枝 14037	上 原 秀 則 14038
石 井 恒 男 14039	麻 生 静 江 14040	橋 本 知 子 14041	薄 田 満里雄 14042
楠 修 次 14043	佐 藤 孝 和 14044	石 田 知 子 14045	寺 田 道 子 14046
大 森 綾 子 14047	西 脇 良 子 14048	海老沢 幸 子 14049	増 田 孝 子 14050
吉 田 恵 子 14051	加 納 恭 子 14052	浦 田 洋 子 14053	羽 島 和 子 14054
下 田 清 春 14055			

三級公認審判員になった人々の氏名発表

京都府バドミントン協会

審査委員 松 尾 良 行
野 村 嘉 明

木 村 義 和 13814	森 尾 順 子 13815	人 見 大 助 13816	斎 藤 篤 司 13817
栗 田 慧 子 13818	谷 口 京 子 13819	木 村 美智子 13820	田 中 雄 作 13821
村 上 康 子 13822	松 岡 美佐子 13823	林 賢 一 13824	中 村 進 13825
井戸本 守 13826	山 本 清 二 13827	前 川 泰 之 13828	石 田 孝 13829
今 西 正 13830	塩 見 靖 男 13831	清 重 義 治 13832	加 藤 晃 司 13833
安 原 捷 行 13834	小 野 裕 治 13835	田 村 幸 美 13836	若 山 道 江 13837
田 中 順 子 13838	村 崎 光 郎 13839	霞 達 夫 13840	藤 本 享 13841
勝 間 由紀枝 13842	川 西 美津子 13843	原 隆 康 13844	西 村 元 延 13845
京 極 高 久 13846	岩 崎 多美子 13847	大 山 静 子 13848	中 沢 美智子 13849
上 垣 和 正 13850	黒 田 さかえ 13851	谷 沢 律 子 13852	本 間 律 子 13853
安 井 木ノ実 13854	鳥 居 範 子 13855	丸 住 純 子 13856	福 田 敬 子 13857
浜 野 玲 子 13858	浅 見 孝 子 13859		

大阪府バドミントン協会

審査委員 宮 脇 正 晴
宝 来 敏 夫

布 谷 義 一 13860	北 出 隆 13861	南 手 良 裕 13862	井 上 順 二 13863
関 岡 健 一 13864	阪 本 和 枝 13865	太 田 耕 造 13866	前 野 次 信 13867
石 飛 智恵子 13868	平 田 真理子 13869	江 口 文 明 13870	岩 元 透 13871
岩 元 好 隆 13872	岩 元 武 雄 13873	藤 井 正 和 13874	中 村 正 一 13875
野 畑 欣 市 13876	中 田 茂 13877	伊 藤 義 次 13878	黒 田 行 茂 13879
山 田 寛 13880	兵 庫 武 史 13881	福 本 千 春 13882	林 孝 子 13883
岩 佐 真理子 13884	渡 辺 厚 子 13885	和 田 一 郎 13886	岡 部 雅 文 13887
村 山 京 子 13888	高 田 佳 泰 13889	中 田 斗志子 13890	安 村 加寿子 13891
須 田 豊 13892	田 中 澄 子 13893	鈴 木 あけみ 13894	

東京都バドミントン協会

審査委員 組 村 明
三 須 徳 次

高 橋 みすゑ 13895	大 根 すい子 13896	田 村 由 美 13897	水 野 悦 子 13898
長 代 継允子 13899	吉 武 千鶴代 13900	平 井 きくえ 13901	中 村 春 美 13902
和 田 多恵子 13903	神 嶋 尉 子 13904	本 部 絹 子 13905	原 早 恵 13906
河 村 和 子 13907	古 河 久 美 13908	今 野 モト子 13909	高 橋 尚 13910
島 中 玲 子 13911	平 松 枝里子 13912	富 田 繁 子 13913	松 倉 富 子 13914
上 里 順 子 13915	田 中 弘 子 13916	沖 允 恵 13917	酒 井 れ い 13918
阪 本 純 子 13919	永 沢 鶴 代 13920	石 田 展・子 13921	木 村 義 春 13922

昭和51年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

日本バドミントン協会

用具委員会 (単位 円)

銘 柄 名	価 格	会 社 名	銘 柄 名	価 格	会 社 名
検 定 合 格					
シャトル・水鳥の部			№2500 キングアロー	3,200	関 諸 江 製 作 所
エリートデラックス 1打	3,900	河崎ラケット工業㈱	№2000 キングクリッパー	2,700	"
エリートトップ 1打	3,400	"	№900 スナップ	2,400	"
エリートエース 1打	3,100	"	№1000 シルバーデラックス	2,300	"
№205 ゴールド 1打	3,200	㈱ ゴ ー セ ン	№8 ダンディ	1,900	"
№205 シルバー 1打	2,900	"	№7 ティピカル	1,500	"
ファーストゴールド 1打	3,100	有限会社 ジャワ商会	№1100 ブラックキー	5,500	ヨネックス・スポーツ㈱
ファーストシルバー 1打	2,800	"	№9100 スリムステンレス	5,300	"
ファーストグリーン 1打	2,400	"	№8000 アルミナハイパワー	5,000	"
トーナメントホワイト 1打	3,500	㈱ ト ヨ ダ ス ポ ー ツ	№7000 アルミナエース	5,000	"
トーナメントブルー 1打	3,200	"	№9000 ハイステンレス	4,800	"
トーナメントブラック 1打	2,900	"	№6000 ファイブエースデラックス	4,500	"
水鳥ビクトリー 1打	3,000	羽 立 工 業 ㈱	№6500 トップエース	4,300	"
スペシャル 1打	3,600	㈱ ベ ー タ ン シ ス テ ム	№5000 ファイブエース	4,000	"
エース 1打	3,200	"	№4000 カレッジエイトデラックス	3,800	"
サンパスター 1打	3,900	関 諸 江 製 作 所	№3000 カレッジエイト	3,200	"
サンパタキング 1打	3,400	"	№2000 キングダイヤ	2,600	"
サンパタクイーン 1打	3,100	"	№900 スリーエース	2,400	"
トーナメント・デラックス 1打	3,900	ヨネックス・スポーツ㈱	№1000 クインハート	2,300	"
トーナメント 1打	3,400	"	№800 スリーエイト	2,000	"
オフィシャル 1打	3,100	"	№700 ラッキーセブン	1,600	"
			ウエアの部		
シャトル・陸鳥の部			ワンピース (リース)	4,900	河崎ラケット工業㈱
ファースト 1打	1,800	有限会社 ジャワ商会	ショートパンツ (T.T.T)	3,700	"
サンパタ 1打	1,900	関 諸 江 製 作 所	ショートパンツ (DE'FI)	3,600	"
トレーニング検定球 1打	1,900	ヨネックス・スポーツ㈱	半袖シャツ (DE'FI)	3,500	"
			スコート (DE'FI)	3,300	"
ネットの部			ショートパンツ (DE'FI)	2,700	"
ナイロンA (ナイロンラッセル15本)	4,800	鐘 屋 産 業 ㈱	フリースコート (リース)	2,600	"
ナイロンB (ナイロン12本)	4,300	"	半袖V襟シャツ (リース)	2,500	"
GTO #70-2112	4,500	㈱ ジ ャ イ テ イ オ	半袖シャツ (DE'FI)	2,400	"
GTO #70-3115	4,300	"	長袖シャツ (リース)	2,300	"
GTO #70-3015	3,900	"	半袖(タリアンネック)シャツ (リース)	2,300	"
ナイロンラッセル12本	4,400	ディエヌネット㈱	半袖シャツ (DE'FI)	2,200	"
ナイロン12本	3,800	"	№508 半袖シャツ (リース)	2,200	"
KT-518	4,400	㈱ 寺 西 喜 商 店	№501 半袖シャツ (リース)	2,200	"
倉敷ビニロン 20/12本	3,800	松 本 製 網 ㈱	スリプレスシャツ (リース)	2,100	"
№481 STRバドミントンネット	4,800	ミセキネット製作所	ブリーツスコート (リース)	2,100	"
№50 VA	4,400	"	スリプレスシャツ (リース)	2,000	"
№52 Aバドミントンネット	3,800	"	406 ショートパンツ (W90~100)	2,750	関 諸 江 製 作 所
			" (W68~85)	2,600	"
ポストの部			407 ショートパンツ (W90~100)	2,750	"
バドミントン支柱T座式	18,000	関 小 川 長 春 館	" (W68~85)	2,600	"
バドミントン支柱ホール式	11,000	"	N427 巻スカート (ライン入り)	2,500	"
DG20 バドミントン支柱(移動型)	26,000	セ ノ 一 ㈱	402 ショートパンツ (W90~100)	2,250	"
DG10 バドミントン支柱	13,500	"	" (W68~85)	2,100	"
バドミントンポスト	10,000	関 都 村 製 作 所	423 ブリーツスカート	2,200	"
バドミントンポスト(T字型)	10,000	"	373 半袖シャツ(女子用)	2,200	"
T座式スチールポール	22,000	ヨネックス・スポーツ㈱	372 半袖シャツ(男子用)	2,200	"
			172 セーター	5,600	ヨネックス・スポーツ㈱
ラインテープの部			212 ワンピース	5,500	"
カワサキラインテープ	2,000	河崎ラケット工業㈱	214 ワンピース	5,500	"
赤Mラインテープ	1,800	昭 和 ゴ ム ㈱	176 ベスト	4,500	"
シムレスラインテープ 40%	2,000	タ チ カ ラ ㈱	143 男子エリカラーシャツ(長袖)	3,500	"
コートテープ	2,300	ヨネックス・スポーツ㈱	144 男子エリカラーシャツ(半袖)	3,300	"
			820 ショートパンツ	3,300	"
審 査 合 格			244 女子エリカラーシャツ	3,200	"
合成シャトルの部			120 ショートパンツ	3,000	"
ナイロン球カワサキリブ 1打	2,800	河崎ラケット工業㈱	921 女子ショートパンツ	2,800	"
インターナショナルハネエース 1打	200	羽 立 工 業 ㈱	200 巻きスコート	2,800	"
ニュートーナメント 1打	3,300	メ ト ロ レ ジ ャ ー ㈱	920 女子ショートパンツ	2,600	"
インターナショナル 1打	2,600	"	121 ショートパンツ	2,500	"
ナッシュ 1個	200	関 諸 江 製 作 所	242 女子ライン入りシャツ	2,300	"
メイビススタンダード 1打	2,700	ヨネックス・スポーツ㈱	142 男子ライン入りシャツ	2,300	"
メイビス 1打	2,400	"	122 ショートパンツ	2,300	"
			241 女子シャツ	2,200	"
ラケットの部			141 男子シャツ	2,200	"
エリート (選手用)	5,000	河崎ラケット工業㈱	202 ブリーツスカート	2,200	"
オールマン (")	4,500	"	201 フリースコート	2,000	"
ブルーリス (")	4,000	"	シューズの部		
スタミナデラックス (")	3,500	"	カワサキオリジナルシューズ	2,600	河崎ラケット工業㈱
スタミナ (")	3,000	"	バドミントンシューズ (レッド)	2,600	ヨネックス・スポーツ㈱
ウィニングコース (")	3,000	"	" (グリーン)	2,600	"
ファインストローク (初級用)	2,500	"	ストリングスの部		
エパーウィーン (")	2,100	"	コンカー	400	河崎ラケット工業㈱
ハードショット (")	1,800	"	ロンシーブ	300	"
NO.B60 スワニー (選手用)	4,500	関 諸 江 製 作 所	アカツキナイロン	200	"
NO.B55 エクセレント (")	4,200	"	ウィントックス	700	関 諸 江 製 作 所
NO.B45 ハイ・トーマス (")	4,000	"	ハイオーシーブ (青スパイラル)	500	"
NO.B40 ファイレス (")	3,500	"	" (アンバー)	500	"
NO.B35 コスモス (")	3,500	"	ハイシーブデラックス (青スパイラル)	400	"
ニューブラック	2,800	関 諸 江 製 作 所	" (赤スパイラル)	400	"
ニューミニ	2,300	"	ハイシーブ	350	"
ウィンナー	1,800	"	LEONIA SHEEP 66	500	東 垂 合 織 ㈱
シルバー	1,300	"	HORN SHEEP DX	400	"
シルバーホークNS-5000(選手用)	4,000	関 西 山 製 作 所	HORN SHEEP	350	"
シルバーホークBX-4000(")	3,800	"	SANY-SHEEP SSW	300	"
カアルトン 3.7 X (")	7,900	メ ト ロ レ ジ ャ ー ㈱	SP SHEEP	300	"
カアルトン 3.7 (")	7,900	"	TOA GUT	200	"
キャリー 7S (")	4,900	"	ヨネックスシーブ DX	400	ヨネックス・スポーツ㈱
キャリー 7G (")	3,900	"	ヨネックスシーブ	350	"
S-74 オールアタック	5,500	関 諸 江 製 作 所			
S-75 ラッシュ	5,000	"			
S-73	4,500	"			
№3500 キングメイト	4,500	"			
№3000 ゴールドキング	4,000	"			

<諸般の事情により、予告なく価格が変更される場合がありますが、あらかじめご了承ください>



SUNBATTa

MADE BY SUNBATTa



SunBatta
BADMINTON RACKET

S-75

Rush



サバタ

◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆

バドミントン界バックナンバー販売一覽表

- 1号 品切れ
 - 2号 品切れ
 - 3号 品切れ
 - 4号 品切れ
 - 5号 品切れ
 - 6号 品切れ
 - 7号 品切れ
 - 8号 品切れ
 - 9号 品切れ
 - 10号 品切れ
 - 11号 品切れ
 - 12号 品切れ
 - 13号 100円
 - 14号 100円
 - 15号 品切れ
 - 16号 品切れ
 - 17号 品切れ
 - 18号 100円
 - 19号 100円
 - 20号 品切れ
 - 21号 100円
 - 22号 品切れ
 - 23号 品切れ
 - 24号 品切れ
 - 25号 130円
 - 26号 130円
 - 27号 130円
 - 28号 130円
 - 29号 130円
 - 30号 130円
 - 31号 品切れ
 - 32号 130円
 - 33号 品切れ
 - 34号 130円
 - 35号 品切れ
 - 36号 品切れ
 - 37号 130円
 - 38号 品切れ
 - 39号 130円
 - 40号 130円
 - 41号 130円
 - 42号 品切れ
 - 43号 品切れ
 - 44号 品切れ
 - 45号 品切れ
 - 46号 130円
 - 47号 130円
 - 48号 130円
 - 49号 130円
 - 50号 130円
 - 51号 130円
 - 52号 220円
 - 53号 220円
 - 54号 220円
 - 55号 220円
 - 56号 220円
- ▼アジア大会総まくり▼インド
ネシアバドミントン界の実情▼
ルール100問▼百年の大計を考へ
よ
- ▼バドミントン発展のために▼
全国に広げよう、ママさんバド
ミントン▼バドの守りと攻め
- ▼私たちの練習法▼インタハイ
▼小島はハルトノになぜ勝てぬ
▼ネットの話
- ▼相沢・竹中特集▼ばどみんと
ん昔話▼ここがききたい▼勉強
とクラブは両立するか
- ▼中国をめぐる動きと現状▼黒
潮国体▼学生界展望
- ▼ホープ順調に成長▼女子学生
界を展望する▼小島海外で活躍
▼ワイド版「読者の広場」
- ▼大衆スポーツ活動の基盤と
現状▼バド72年10大ニュース
▼47年度全日本総合選手権▼小
島「復活」▼女子ホープは目白
押し▼アマチュアリズムとは
- ▼第2回国際女子競技会▼欧州
の女王▼たくましく変身した欧
州勢
- ▼中国の実力とその周辺▼ハル
トノ以外対抗できず▼中国×英
国4戦の全記録
- ▼第24回インタハイ▼金沢市工
と四条畷に栄冠▼西村、単複と
もに危げなし▼徳田「中山二世」
- ▼第1回日中競技大会▼抜群の
スピードとテクニク▼中国強
し▼中国10戦全勝を飾る
- ▼48年度全日本総合選手権▼小
島輝くV7▼湯木も王座ガッツチ
リ▼28回国民体育大会
- ▼中国チームから得たもの▼日
中大会における中国3選手(湯
・侯・陳)に学ぶ連続写真
- ▼第3回国際競技大会▼女子の
活躍で日本選抜辛勝▼連載(小
島一平)
- ▼全英選手権大会▼湯木2度目
の女王の座へ▼相沢・竹中3連
勝ならず▼連載(小島、中山)
- ▼全英選手権を終えて(湯木博
恵、梅野尾昌一)▼スナップ写
真集▼連載(小島、中山)
- ▼第1回ピンナップ特集▼外国
からの挑戦者たち
- ▼第五回女子チャンピオンズ▼
連載(小島、中山)▼バドミン
トンと私

◆かんたんに本誌を綴じることのできる◆

バドミントン界専用合本バインダー発売中

●定価 500円 (送料実費) お申込みはハガキで

◆濃紺布張り・金文字押し・ノリ、穴あけ不要◆

- ▼カナダオープンで池田・梶野尾優勝▼ビギナーへの手紙▼母子大会▼連載(小島)
- 57号 220円
- 58号 220円
- ▼中国・インドネシアついに対決▼デンマークオープン写真集▼連載(小島、中山)
- 59号 220円
- ▼第2回訪中友好試合▼教職員大会▼インタハイ▼アジア大会速報▼連載(小島)
- 60号 220円
- 61号 220円
- ▼第29回国民体育大会▼東、西日本学生選手権▼全英選手権大会(ギルクス、ハルトノ、グナラン)連続写真▼連載
- 62号 220円
- 63号 220円
- ▼全日本総合選手権▼同写真集▼連載(小島)
- 64号 220円
- ▼第4回国際競技会▼湯木ギルクスに快勝▼英国強し▼第6回全日本チャンピオンズ
- 65号 220円
- ▼母島のバドミントン▼内外展望台▼第1回全日本総合団体戦▼デンマークオープン
- 66号 220円
- 67号 220円
- 68号 220円
- ▼無念ノユ杯V4ならず▼湯木中山の健闘もむなし▼バドミントンに賭けた青春・湯木
- 69号 220円
- ▼ユ杯詳報▼湯木、中山マイペース▼相沢・竹中不調▼日本必死の防戦も及ばず
- 70号 220円
- ▼インタハイ▼植野三冠に輝く▼男子は林田が制す▼東日本学生選手権
- 71号 220円
- ▼ト杯東地区予選対香港▼日本完勝▼土田初出場で重責を立派に果たす
- 72号 220円
- ▼全日本社会人大会▼小島、湯木が優勝▼全国の指導者に望むこと
- 73号 220円
- ▼第4回日中競技会▼ヤングパウ・林詩銓はつらつ劉霞▼中国ランキング
- 74号 220円
- ▼全日本総合選手権▼小島不滅の金字塔▼湯木キズだらけの四連勝▼徳田白熱の善戦
- 75号 220円
- ▼第30回国民体育大会▼神奈川が二年ぶり10度目の栄冠▼全日本学生選手権
- 76号 220円
- ▼ト杯アジア東地区決勝対韓国▼日本9-0で完勝▼第5回国際競技会▼銭谷×シユナーゼ戦
- 77号 220円
- ▼全日本総合選手権団体戦▼第

- 7回全日本女子チャンピオンズ▼ジャカルタ新聞とユーバー杯
 - 78号 300円
 - ▼全英選手権大会▼ハルトノ八回目の栄冠▼ギルクスは三冠王▼アジア招待大会▼スミラト中国勢を連破して優勝
 - 79号 300円
 - ▼ト杯アジア地区決勝対マレーシア▼王国のバドミントンとスポーツ界▼夜明けの時代をふりかえって
- ★申込方法★
ハガキにご希望のナンバーと冊数を明記のうえ、左記あてお申し込みください。発送のさいに振込用紙を同封しますので、到着後代金をお振込みください。
なお、毎週一回集計のうえ集中的に発送するシステムをとりますので、約二〜三週間の時間的余裕をみてください。
本誌専用合本バインダーもぜひ同時にお申込みください。
- ★申込先★
〒150 東京都渋谷区神南 一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会出版局

◆The Badminton World '77 Calendar	◆第7回世界女子バドミントン選手権大会記録
1977年バドミントン・カレンダー	ユーバー杯奪還への道
●好評発売中・定価 950円 (送料実費) ●大型B3判 12ページ・オールカラー ●男女一流プレーヤーを網羅	●発売中・定価 1,000円 (送料 120円) ●A5判 128ページ、うちカラー16ページ ●プレーヤー、指導者必読の書

編集室から

◆今回はインカレ、国体を中心に編集しました。ちょうど日程が重なったため、細部にわたって記載することが出来ませんでした。オルジャパンにそなえての大きな反省材料となりました。次号のオルジャパン特集をどうぞご期待ください。

◆11月11日、インドで開催されたアジアバドミントン選手権へ出場した板垣隆房監督以下、山本次生コーチ、梅野尾、池田、尾崎、銭谷、飯野、土田の男子選手6名、梅野尾、池田、徳田、秋本、近藤、植野の女子選手6名、それに四条畷の片岡先生の一行15名が無事帰国されました。この貴重な体験を是非みなさんにも紹介したいと思っています。来春早々にも企画をたてて特集を組みたい計画ですので、これもご期待ください。

◆全国大会も3回目を迎えたママさんバドミントンの発展は、こへ来て目を見張るものがあります。試合を見学された湯木

博恵さん、池田美加さんも異口同音に「負けソッソ！」と舌を巻いて、ママさんのハッスルぶりに圧倒されたようです。全国に蒔かれたこの種が、どのようになりに育っていくか、益々楽しみになっています。

◆今年一年間、読者のみなさんには、遅配になったり、内容が乏しかったりで迷惑をおかけしましたが、編集部員の足並もそろい、ようやく遅れをとり戻すメドもたちました。これから、内容の充実を計ることに専念していきたいと思えますのでどうぞよろしく!!

◆今月号から「われらのクラブ」と題しまして、クラブ紹介のページを設けました。「私達のクラブをみなさんに紹介したい」と思われる方は、是非お便りを送ってください。写真も同封していただければ、尚一層おもしろい読物になります。

◆只今本誌バックナンバー頒布表を発表しています。お手もとの旧号をお調べのうえ、ご注文ください。発送のさいに請求書と振込用紙を同封いたしますのでよろしくお願いいたします。また、お待ちかねの合本バインダー、オールカラーカレンダーも頒布中です。いずれも数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。

◆なお、全日本総合選手権大会のうち、12月11日(土)、12日(日)の両日は、会場の国立競技場代々木第二体育館入口で、カレンダー、合本バインダーを発売しておりますので、会場へお越しのさいは、ぜひご利用ください。送料もかからず便利かと思えます。

◆来月号は全日本総合選手権大会(オールジャパン)の特集を中心にお届けします。

オールジャパン会場で

(12月11日・12日)

カレンダー・バインダーを発売

昭和51年度 大会予定カレンダー

◆すでに行われた大会

- 第26回全日本実業団選手権大会
6月25・30日(藤沢市)
- 第27回全国高等学校選手権大会
8月1・6日(中野市)
- 第15回全日本教職員選手権大会
8月11・15日(東京都)
- 第6回全国中学生大会
8月18・20日(仙台市)
- 第19回全日本社会人選手権大会
9月12・15日(宮崎市)
- 第5回日中競技大会9月下旬
10月上旬(北京市・他)
- 第31回国民体育大会競技
10月25・28日(佐賀県津町)
- 第27回全日本学生選手権大会
10月26・31日(東京都)
- 第4回アジア選手権大会10月29
・11月7日(ハイデラバッド市)

◆開催の準備を進めている大会

- 昭和51年度全日本総合選手権大会個人戦12月8・12日(東京都)
- 昭和51年度全日本総合選手権大会団体戦2月19・20日(東京都)
- 国際大会(招待)
- 第6回国際競技大会1月下旬・2月上旬(東京都・他)
- 国際大会(派遣)
- 第20回全カナダオープン選手権大会12月1・4日(トロント市)
- 第25回全デンマークオープン選手権大会3月12・15日(コペンハーゲン市)
- 第67回全英オープン選手権大会3月23・26日(ウエンブレイ市)

バドミントン界

第85号

第8巻第11号

定価 300円

昭和51年11月1日発行

©1976 無断転載を禁ず

編集/発行人・秦 浩

発行所・日本バドミントン協会

郵便番号150 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館

電話 03-467-3111(代表) 内線351/03-467-7095(直通)

振替 東京5-32193(協会) 東京5-9525(編集部)

印刷所・明宏印刷株式会社

東京都豊島区南大塚2-29-8



carlton

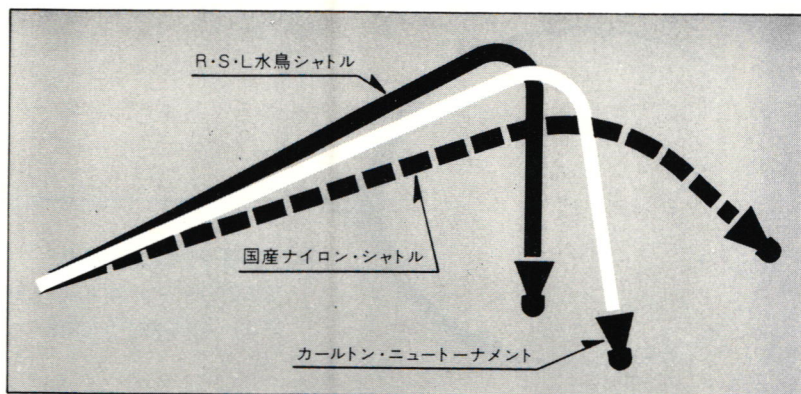
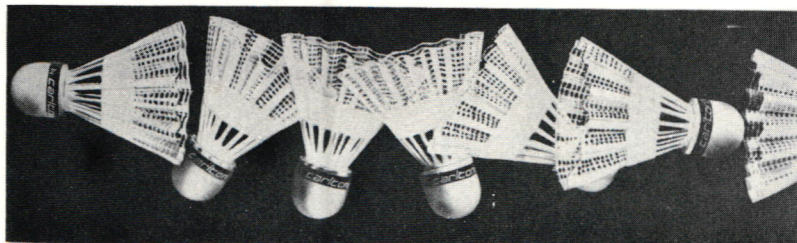
飛びが違う・カールトン。

新しい2つの再開発で……水鳥シャトルに匹敵する高性能になりました。

ニュートーナメント

ターン・オーバーが速い。
白く見えやすい。

右の図はR・S・L(水鳥シャトル)、
カールトン・ニュートーナメント、
国産ナイロン・シャトルの飛行
線を表わしたものです。
カールトン・ニュートーナメント
が水鳥シャトルの飛び方にいか
に酷似しているかわかり頂け
ると思います。



日本バドミントン協会審査合格品 IBF(国際バドミントン連盟)公認球

●性能にうるさい方は

ニュートーナメント 1個 ¥280

●耐久性優先の方には

インターナショナル 1個 ¥220

(国産ナイロン・シャトルよりもはるかに良い性能と耐久力があります。)

※ニュートーナメントは世界各国の協会で、試合球として採用されています。



総発売元

メトロレジャー株式会社

〒101 東京都千代田区外神田5-6-4
☎(03)833-3661(代)

このマークを語らずに



「世界の日本」は語れない。



NO.B-75<エリート>

モスグリーンメタリック(ケース付)

フレーム価格¥5,000



NO.B-73<オールマン>

ブルーメタリック(ケース付)

フレーム価格¥4,500

カワサキラケット

河崎ラケット工業株式会社

日本バドミントン協会推薦